

消防試験研究センターだより vol.367

# Voice...7

2018



## top

危険物取扱いの安全化に向けて—安全教育の体系化を考える—

## こだま

徳島県立阿南光高等学校「新高校の開校と資格取得などの取組について」

## 支部の広場

青森県支部からお届け



①



②



③



④



表紙によせて

### 青森県観光物産館 (青森市) / 表紙上段

青森県 (Aomori)、観光 (Sightseeing)、物産 (Products)、館 (Mansion) の頭文字をとって「アスパム」と呼ばれています。特に「A」をかたどった三角形の外観が特徴で、地上15階、高さ76メートルの青森市のランドマーク。危険物取扱者試験等の国家試験会場としても利用されています。毎年5月に、裏の青い海公園の一角にねぶた小屋が置かれ、祭り期間中には、ねぶたを間近で観ることができます。

### 蕪島のウミネコ (八戸市) / 表紙下段

八戸市種差海岸にある蕪島 (かぶしま) は、周囲800メートル、高さ20メートルの海岸から陸続きの小さな島。頂上には商売繁盛と海の守り神「蕪島神社」が鎮座しています。島に一步踏み入れれば、繁殖期には3万羽から4万羽とも言われる、神の使いのウミネコが歓迎。時には「ウミネコ爆弾」と称される強烈な「運」が降り注ぐこともあるとか。(蕪島神社の社殿は現在、再建工事中。)

### ①弘前城(弘前市)

弘前公園は全国有数の桜の名所。約3,000本の桜が、ゴールデンウィーク頃に満開を迎え、200万人を超える観光客の目を楽しませてくれます。いま弘前公園では、100年ぶりの城の石垣修理が進行中。その範囲が天守台にも及ぶため、古くはピラミッドの建設にも使われたと言われる「曳屋(ひきや)」という技術で、天守を解体することなく、77メートル移動。全国的な話題となりました。

### ②十和田バラ焼き (十和田市)

青森県の代表的B級グルメと言えば、八戸せんべい汁とこの十和田バラ焼きです。もともとは戦後、三沢米軍基地前の屋台で生まれたと言われるバラ焼き。それが十和田に伝わって好評となり、市内に爆発的に広まりました。さらには青森と十和田にまたがる「十和田湖冬物語」という人気イベント等を通して、十和田バラ焼きの人氣が全国各地に広まっています。

### ③薬研温泉かっぱの湯 (むつ市)

かっぱ伝説が残る露天風呂。約1,100年前、恐山を開山した慈覚大師が薬研を訪れる途中、崖から足を踏み外し大怪我に。そこへ一匹の河童が現れ、大師を背負い運び去ってしまいました。翌朝、大師が目覚めると、露天風呂の中に入れられて、痛みがすっかり消えていました。大師は感激をして、この露天風呂を「かっぱの湯」と名づけたと言われています。

### ④雪国地吹雪体験 (五所川原市)

太宰治のふる里、津軽の厳寒の中を、吹きすさぶ地吹雪を体験しながら巡るという、雪国ならではのユニークな体験ツアー。地面に積もった雪が強風で舞い上がり、目の前が真っ白に染まります。当日は津軽鉄道「金木駅」に集合し、雪原のある場所へ移動。角巻・もんぺ・かんじきを身に着けて地吹雪の中へ。絵画の世界に迷い込んだかのような、幻想的な光景が広がります。

002

## top

危険物取扱いの安全化に向けて—安全教育の体系化を考える—

東京大学名誉教授

田村 昌三

004

## こだま

徳島県立阿南光高等学校「新高校の開校と資格取得などの取組について」

006

## 業務情報

平成29年度事業報告及び決算

平成29年度の試験実施結果について

平成29年度の免状作成等の状況について

026

## 支部の広場

青森県支部からお届け

028

## topic

合格体験記

梅津 紘也

山形県立米沢工業高等学校

建設環境類 環境化学コース3年

030

## 消防庁の通知・通達等

034

## 業務報告

4・5月の試験実施結果・免状作成状況

# 7 Voice...

消防試験研究センターだより

2018 July vol.367





安全知識、高度安全技術等を身につけるべきであろう。

産業活動、社会生活において、リスクは必ず存在する。したがって、安全の基本としては、まず、リスク認識をもち、自分の身は自分で守るという考えを身につけ、危険への感性をもつことである。次いで、ものごとにはリスクのみならずベネフィットもあることを理解し、リスクとベネフィットを基に感情的な議論ではなく、科学的な議論ができ、ものごとの決定ができる素養を平素から培っておく必要がある。安全の基本的知識は、われわれが産業活動、社会生活を行う上で必要なもので、日常生活における安全、学校における安全、職場における安全、情報と安全、エネルギーと安全、環境と安全等を考える上で身につけておく必要がある基本的知識である。専門的な安全知識、安全技術等は、産業安全等に関わる各階層がプロフェッショナルとしてもつべきものである。高度安全知識、高度安全技術は、安全の専門家が高度な安全知識や安全技術の基盤を構築し、先導するとともに、安全に係わる人材の育成のために、安全知識、安全技術等の指導を行う上で必要とするものである。

## 4.2. 各段階での適切な安全教育プログラムの推進

体系的な安全教育プログラムは、図1に示すように各段階で適切に推進することが重要である。

家庭教育、初等・中等教育においては、安全の基本や安全の基本的知識を身につけるべきであり、それが産業安全や社会安全のベースとなる。高等教育において

は、管理者あるいは技術者として、安全に関する知識や技術を身につけるための教育を行うべきであり、また、我が国が安全技術の先導性をもつための高度な専門的な安全知識や技術を身につけた技術者や研究者の育成のための教育を行う必要がある。本来、企業には家庭教育、初等・中等教育、あるいは、さらに高等教育を身につけた者が入社するはずである。その場合、各企業は企業の理念、文化、専門分野等の企業固有の安全教育と各階層が習得すべき共通の、一般的な安全教育プログラムを行うことになる。また、社会人教育においては、社会人がもつべき安全の基本や基本的安全知識をリマインドするための機能を果たすべきである。

しかしながら、家庭教育、初等・中等教育、社会人教育においては、安全の基本や基本的安全知識に関する教育はほとんど行われていない。また、高等教育においても本来行うべき教育が十分に行われているとはいえない。そのため危険物取扱いの安全問題に直面している産業界はこれらすべての教育を自ら行わざるを得ないのが実状である。

これからの危険物取扱いの安全化のためにも各段階で適切な安全教育プログラムを実行することにより体系的な安全教育プログラムを推進したいものである。

当面、産業界における各階層向けの安全教育プログラム等は、共通的な要素が多いため、これらを整理、体系化し、共有化を考えることが教育の人材育成、教材作成上からも効果的といえる。また、学校安全教育は産業安全や社会安全の基礎となることを考えると、学校安全教育への産業界の支援について考えることも必要なのであろう。

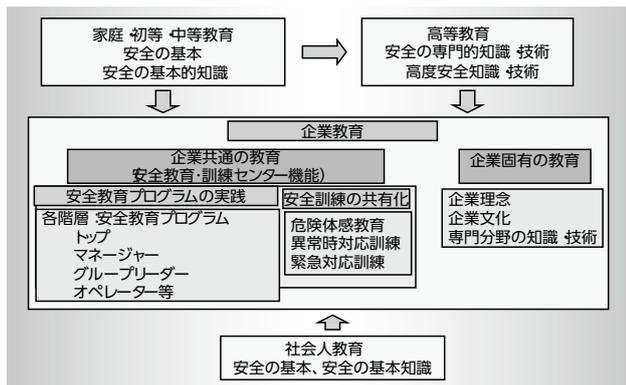


図1 危険物取扱いの安全化のための体系的な安全教育プログラムの推進

## 5 まとめ

近年の産業安全問題の要因と背景について考察し、これからの危険物取扱いの安全化の方向性について述べた。今後、我が国が危険物取扱いの安全化を進展させるためにも、それを担う人材育成のための安全教育の体系化と推進が重要であろう。



## 徳島県立阿南光高等学校

# 新高校の開校と資格取得などの取組について

笠原 高志 (かさらは たかし)  
徳島県立阿南光高等学校 教頭

### 1. 学校紹介

本校は、徳島県南部に位置する阿南市の徳島県立阿南工業高校と徳島県立新野高校の再編統合により、徳島県初となる農工商が一体化した専門高校として、平成30年4月に開校した。

「進取・創造・協働」の校訓のもと、「自己を大切にし、他を思いやり、互いに尊重し合って生きる、夢と志のある豊かな『こころ』をはぐくみ、地域の未来を担う人を育てる。」

ことを教育目標とし、「6次産業化に対応した特色ある教育」、「ものづくりを重視した教育」、「地元企業・大学等と連携した教育」を展開している。

設置学科は、「機械ロボットシステム科」、「電気情報システム科」、「都市環境システム科」からなる工業科と、入学時は一括募集して、2年次から生徒の興味・関心・進路希望により農業・商業の5系に分かれる産業創造科である。

### 2. 各学科の学習内容

学 科		学 習 内 容
工業科	機械ロボットシステム科	ものづくりに必要な機械の設計・加工などをはじめ、ロボットや自動制御に関する知識や技能を学習します。
	電気情報システム科	電気の基礎や電気工事の基礎的な技能を習得した後、エネルギー利用と情報通信の分野に分かれて学習します。
	都市環境システム科	測量・設計・施工に関する基礎的な知識・技術や最新の土木技術に加えて、建築に関する分野についても学習します。
産業創造科	地域クリエイト系	6次産業化によるビジネスモデルの構築や将来の起業に向け、産業に関する幅広い知識・技術を学習します。
	フードデザイン系	食品の加工、流通、販売に関する知識・技術をはじめ、地域の素材による商品開発、食の安全・安心について学習します。
	情報ビジネス系	デジタル化、ネットワーク化された情報社会に対応するため、商業の基礎とビジネスに生かせる情報処理技術を学習します。
	バイオサイエンス系	草花・野菜などの生産、植物バイオテクノロジーに関する知識・技術を学習します。
	総合サイエンス系	4年制大学等へのキャリアアップをめざし、進学に必要な科目をしっかり学習します。

### 3. 特色ある取組

本校では、統合前の2校が行ってきた次の特色ある取組を引き継ぎ、学校全体で実践していく。

#### (1) 6次産業化実践活動

工業科と産業創造科の協働により、他高校や大学・企業とも連携しながら、県南部の特産品を活用した6次産業化商品の開発に取り組む。

#### (2) あこうバンブーミクス

工業科が中心となり、地元のNPO法人や関係機関と連携し、従事者の高齢化や担い手不足により放置された竹林の解消に向け、かつて阿南市の特産であった竹材の新たな利活用に取り組む。

#### (3) イシマササユリ保護活動

産業創造科が中心となり、阿南市の離島・伊島に自生する希少植物「イシマササユリ」の球根を植物バイオテクノロジー技術で増殖し、地元中学生とともに保護活動に取り組む。



6次産業化実践活動（ゆこうシロップづくり）



あこうのバンブーミクス（竹の伐採）



イシマササユリ保護活動（バイオテク実習）

### 4. 危険物取扱者試験への取組

本校は新設校で、現在1年生のみのため、統合前2校の危険物取扱者への取組状況について、説明する。

まず、徳島県立阿南工業高校では、危険物取扱者乙種第4類を1年生の2月に機械科は全員が受験、電気科と建設科は希望者が受験をした。また、乙種第4類に合格した後、乙種全種の取得を目指す生徒もいた。

徳島県立新野高校については、将来の進路に応じて、乙種または丙種を希望者が受験をした。同校も乙種第4類合格の後、乙種全種の取得を目指す生徒がいた。両校の受験状況については、次のとおりである。

#### ■危険物取扱者試験の受験状況(平成29年度)

##### ◇ 徳島県立阿南工業高校

	乙種1類	乙種2類	乙種3類	乙種4類	乙種5類	乙種6類	丙種	合計
受験者数	1	1	2	112	1	0	0	117
合格者数	0	1	2	18	1	0	0	22
合格率(%)	0	100	100	16.1	100	0	0	18.8

##### ◇ 徳島県立新野高校

	乙種1類	乙種2類	乙種3類	乙種4類	乙種5類	乙種6類	丙種	合計
受験者数	1	0	2	7	3	2	9	24
合格者数	1	0	2	2	1	2	5	13
合格率(%)	100	0	100	28.6	33.3	100	55.6	54.2

こうしたことから、徳島県立阿南光高校においてもまずは、1年次に乙種第4類の取得を勧め、工業科だけでなく、産業創造科を含め、学校全体で補習体制を整備し、より多くの生徒が合格するよう取り組んで参りたい。

### 5 おわりに

本校は、県南部の専門教育をリードする拠点校として、地域の未来を創造する力を身につけ、地域産業の振興に貢献する生徒を育成する役割を担っている。

こうした生徒の育成に、資格は欠かせない重要なものであることから、危険物取扱者のみならず、多くの生徒が将来必要な資格を取得し、地域社会で活躍できるよう学校全体で資格取得を進めて参りたい。



植えつけたイシマササユリ

# 事業報告書

## 第1 概況

### 1 受験者確保対策の推進

試験事業の根幹をなす危険物取扱者試験の受験申請者数は、近年、減少傾向が続いていることから、有識者等による受験者確保に関する検討委員会報告を踏まえ、工業高校を対象に担当教諭との会議を実施し、理工系大学ではポスター及び大学生向けパンフレットによる広報を行うとともに、自衛隊に対しては防衛省を通じて特定試験の働き掛けを行うなど、27支部で「受験しやすい環境づくりモデル事業」を実施した。

なお、平成30年度も引き続きモデル事業を実施し、全ての支部で受験者確保対策を推進する。

### 2 試験事業の状況

危険物取扱者試験の受験申請者数は、平成22年度から連続して減少となった。これは、少子化、特に高校生の減少やエネルギー需要等の社会情勢の変化に伴う危険物施設の減少などの影響によるものと推測される。消防設備士試験の受験申請者数は、やや増加した。これは、資格を必要とする社会情勢等によるものと推測される。予防技術検定の受検申請者数は増加した。これは、各消防本部において、予防技術資格者のうち、勤続年数が長い職員が退職することに伴い、資格者の充足率の低下が見込まれることから、資格者確保に向けて受検者を増加させていることによるものと推測される。

危険物取扱者試験の受験申請者数は42万2千740人で、前年度（43万1千339人）から8千599人減少（減少率2.0%）し、消防設備士試験の受験申請者数は10万8千920人で、前年度（10万8千284人）から636人増加（増加率0.6%）した。

危険物取扱者試験と消防設備士試験の受験申請者の合計は53万1千660人で、前年度（53万9千623人）から7千963人減少（減少率1.5%）した。

予防技術検定の受検申請者数は8千967人で、前年度（8千333人）から634人増加（増加率7.6%）した。

### 3 免状事業の状況

免状業務については、全ての都道府県と受託契約して、免状作成等の事務を行うとともに、38都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行った。

免状作成等の処理件数は、新規免状の作成、免状の書換え（写真書換えを含む）、再交付免状の作成を含めて、危険物取扱者は26万7千738件で、前年度（25万8千59件）から9千679件増加（増加率3.8%）し、消防設備士は4万1千107件で、前年度（4万365件）から742件増加（増加率1.8%）した。危険物取扱者と消防設備士の免状作成等の処理件数の合計は、30万8千845件で前年度（29万8千424件）から1万421件増加（増加率3.5%）した。

## 第2 個別的事業

### 1 試験事業

(1) 危険物取扱者試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数 (単位：回)

	甲種	乙種							丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
当年度	305	385	376	390	763	383	395	2,692	407	3,404
前年度比	8	2	△9	3	24	△15	△4	1	△13	△4

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	422,740	381,043	160,378	42.1%
前年度比	△8,599	△7,462	15,362	4.8

# 業務情報

## 平成29年度 事業報告及び 決算

(2) 消防設備士試験を全都道府県で、次のとおり実施した。

ア 試験実施回数

① 甲種 (単位：回)

	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	合計
当年度	100	122	111	113	129	111	686
前年度比	△1	△2	1	0	△5	1	△6

② 乙種 (単位：回)

	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	合計
当年度	115	104	101	130	106	142	124	822
前年度比	2	3	△2	△2	△1	5	1	6

イ 受験申請者数・合格者数等

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率
当年度	108,920	84,419	29,733	35.2%
前年度比	636	82	616	0.7

(3) 試験実施回数、受験申請者数、受験者数及び合格者数等の合計は、次のとおりであった。

	試験実施回数(回)	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率	
危険物取扱者	当年度	3,404	422,740	381,043	160,378	42.1%
	前年度比	△4	△8,599	△7,462	15,362	4.8
消防設備士	当年度	1,508	108,920	84,419	29,733	35.2%
	前年度比	0	636	82	616	0.7
合計	当年度	4,912	531,660	465,462	190,111	——
	前年度比	△4	△7,963	△7,380	15,978	——

(4) 予防技術検定を全都道府県で、次のとおり実施した。

平成29年度(第13回目)

	受験申請者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率	
防火査察	当年度	4,894	4,636	2,274	49.1%
	前年度比	96	137	△385	△10.0
消防用設備等	当年度	2,253	2,106	692	32.9%
	前年度比	270	243	△332	△22.1
危険物	当年度	1,820	1,705	1,035	60.7%
	前年度比	268	254	162	0.5
合計	当年度	8,967	8,447	4,001	47.4%
	前年度比	634	634	△555	△10.9

(5) 電子申請者数は、次のとおりであった。

	電子申請者数(人)	受験申請者数(人)	電子申請率	
危険物取扱者	当年度	118,299	422,740	28.0%
	前年度	117,007	431,339	27.1%
	前年度比	1,292	△8,599	0.9
消防設備士	当年度	35,664	108,920	32.7%
	前年度	34,129	108,284	31.5%
	前年度比	1,535	636	1.2
合計	当年度	153,963	531,660	29.0%
	前年度	151,136	539,623	28.0%
	前年度比	2,827	△7,963	1.0

- (6) 過去に出題した試験問題の公開について、平成29年5月24日に「試験問題の公開に係る検討委員会」において審議し、平成29年6月21日から、ホームページ上で公開している過去の出題問題の追加・更新を行った。

この結果、平成29年度末現在、危険物取扱者試験については157問、消防設備士試験については74問をホームページ上で公開している。

- (7) 支部試験実施状況調査を、8支部において実施した。  
(調査実施支部)

山形県、岐阜県、香川県、兵庫県、青森県、岡山県、栃木県、長崎県

## 2 免状事業

- (1) 免状作成業務等の受託については、全ての都道府県と受託契約し、新規免状の作成、免状の書換え及び再交付免状の作成を行うとともに、免状データベースに登録した。

### ア 免状作成等の処理状況

(単位：件)

		新規交付	書換え		再交付	合計
			写真	写真以外		
危険物取扱者	当年度	151,668	103,434	1,651	10,985	267,738
	前年度比	8,952	551	△78	254	9,679
消防設備士	当年度	28,500	11,476	210	921	41,107
	前年度比	948	△41	△53	△112	742
合計	当年度	180,168	114,910	1,861	11,906	308,845
	前年度比	9,900	510	△131	142	10,421

- イ 免状データベースの登録件数の累計は、次のとおりとなった。

	登録件数の累計(件)
危険物取扱者	7,642,015
消防設備士	978,422
合計	8,620,437

- (2) 38都道府県と受託契約し、写真書換え未了者に対する書換え促進通知業務を行い、9万1千954人に通知(危険物取扱者 8万5千358人、消防設備士 6千596人)した。

うち2万1千556人(23.4%)が写真書換えを申請した。

(受託都道府県)

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、滋賀県、奈良県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- (3) 全都道府県との覚書により、免状データベースへの講習履歴の収録を、次のとおり行った。

	講習履歴の収録件数(件)
危険物取扱者	217,971
消防設備士	90,513
合計	308,484

### 3 調査研究事業

(1) 調査研究事業を、次のとおり行った。

ア 危険物取扱者試験受験者の受験意欲向上に関する調査研究

平成28年度調査研究事業「危険物取扱者の資格取得支援に関する調査研究」では、生徒を指導する教諭の教え方やモチベーションが生徒の合格率や受験意欲に影響していること、指導する担当の教諭の中には、指導方法が分からないことや法令等不得意な分野もあることなど現状の問題点が浮き彫りとなった。

このことから、教諭が教えやすく生徒が理解しやすい教材を試作し、活用することにより、教諭の支援を行うとともに生徒のモチベーションを向上させる方策について検討を行った。

イ 受験者確保対策を戦略的に講じる基礎資料を収集するための受験者動向等に関する調査研究

大都市圏の工業高校の生徒数は他の道府県に比べ多いにも関わらず、受験者数は少ない状況であることから、大都市圏における高校生の受験者の確保を図るために、東京都及び大阪府の工業高校を中心に受験者動向等を調査・分析し、高校生の受験者確保方策の検討を行った。

(2) 受験しやすい環境づくりモデル事業を、27支部において実施した。

モデル事業内容	実施支部
工業高校	青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、埼玉県 山梨県、富山県、岐阜県、愛知県、三重県、奈良県、島根県 岡山県、広島県、山口県、愛媛県、福岡県、佐賀県、沖縄県
理工系大学	中央試験センター、大阪府
自衛隊	北海道、青森県、京都府、佐賀県
消防団	滋賀県
事業所	千葉県、三重県

(3) 広報活動を、次のとおり行った。

ア 新規に広報先を絞った大学生及び高校生向けパンフレットを作成するとともに、試験及び電子申請の広報用並びに写真書換え制度のポスター等を作成して、受験者の確保並びに電子申請、写真書換え制度の周知を図った。

(作成数量)

- |                         |          |
|-------------------------|----------|
| ① 資格取得広報ポスター            | 18,800枚  |
| ② 資格取得広報パンフレット          | 107,500部 |
| ③ 試験実施日程パンフレット          | 65,700部  |
| ④ 大学生向け危険物取扱者試験広報パンフレット | 15,700部  |
| ⑤ 高校生向け危険物取扱者試験広報パンフレット | 60,900部  |
| ⑥ 電子申請利用促進広報リーフレット      | 75,800枚  |
| ⑦ 写真書換え促進広報ポスター         | 13,500枚  |
| ⑧ 写真書換え促進広報リーフレット       | 97,300枚  |

(配布先)

高校・大学、事業所、都道府県及び消防機関等

イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」を、次のとおり発行し配布した。

(作成数量) 隔月 3,000部

(配布先) 高校、都道府県、消防機関及び消防関係団体等

ウ 受験者確保対策として、平成28年度作成した広報媒体「危険物取扱者及び消防設備備士紹介ビデオ」について、追加作成を行い、広く高校・大学等で活用を図った。

(作成数量) DVD 2,000枚

エ 消防関係の専門誌等を活用して広報活動を行った。

- (4) 「平成28年度危険物取扱者試験・消防設備士試験・免状統計表」を、次のとおり作成し、配布した。
- (作成数量) 320部  
(配布先) 消防庁、都道府県
- (5) 役職員による個人情報の厳格な管理、利用の安全性の確保について徹底するとともに、受験者情報を扱うデータエントリー委託業者に対する厳正な管理・監督の徹底を図った。

#### 4 その他事業

- (1) 業務監査を、13支部において実施するとともに、公認会計士による外部監査を、2支部において実施した。
- (業務監査実施支部)  
北海道、宮城県、福島県、千葉県、福井県、愛知県、三重県、滋賀県、  
広島県、山口県、福岡県、大分県、沖縄県
- (外部監査実施支部)  
岩手県、兵庫県
- (2) 試験業務及び免状業務の円滑な執行を図るため、全国支部長会議を1回、ブロック幹事支部長会議を1回それぞれ東京で開催するとともに、都道府県消防主管課の出席を得て、全国6ヶ所でブロック支部長会議を開催し、経営改善対策についての説明と意見交換等を行った。

(ブロック支部長会議開催地)

ブロック名	開催地	開催日
北海道・東北	山形県	平成29年9月28日
関東・甲信越	群馬県	平成29年10月5日
中部	静岡県	平成29年10月11日
近畿	京都府	平成29年9月14日
中国・四国	香川県	平成29年9月21日
九州	福岡県	平成29年10月17日

- (3) 消防防災推進事業助成を、72事業に対して行った。
- (4) 関係官庁、関係機関及び諸団体との連絡調整を行った。

### 第3 評議員会及び理事会の開催に関する事項

#### 1 評議員会

- (1) 第11回評議員会（平成29年6月26日（月）開催）
- 理事の選任  
上関克也氏、高橋淳氏、田口尚文氏、長澤良治氏、南部浩一氏
- 監事の選任  
須貝俊司氏
- 評議員の選任  
石井義明氏、菅原進一氏、鈴木和男氏、中林一樹氏、坂野恵三氏
- 平成28年度事業報告の報告及び平成28年度決算の承認  
平成28年度公益目的支出計画実施報告書の報告
- (2) 第12回評議員会（平成29年12月22日（金）開催）
- 基本財産の取崩しについて承認

## 2 理事会

- (1) 第18回理事会（平成29年6月9日（金）開催）  
 理事長（代表理事）及び常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告  
 平成28年度事業報告の承認及び平成28年度決算の決定  
 平成28年度公益目的支出計画実施報告書の承認  
 評議員会招集の決定
- (2) 第19回理事会（平成29年6月27日（火）開催）  
 理事長の選定  
 田口尚文氏
- (3) 第20回理事会（平成29年7月24日（月）開催）  
 常務理事の選定  
 高橋淳氏
- (4) 第21回理事会（平成29年12月6日（水）開催）  
 基本財産の取崩しについて決定  
 評議員会の招集の決定
- (5) 第22回理事会（平成30年3月16日（金）開催）  
 平成30年度事業計画及び平成30年度収支予算の承認  
 常務理事の事務局長事務取扱いについて  
 一般財団法人消防試験研究センター監事監査規程の一部改正の報告

## 附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

# 平成29年度決算書

## 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	582,909,683	462,861,460	120,048,223
未収金	77,345,741	69,577,865	7,767,876
前払金	12,510,290	19,902,583	△ 7,392,293
貯蔵品	14,778,889	17,254,782	△ 2,475,893
流動資産合計	687,544,603	569,596,690	117,947,913
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
普通預金	608,014,042	1,108,014,042	△ 500,000,000
定期預金	200,000,000	200,000,000	0
投資有価証券	1,721,985,958	1,721,985,958	0
基本財産合計	2,530,000,000	3,030,000,000	△ 500,000,000
<b>(2) 特定資産</b>			
役員退職慰労引当資産	8,724,600	14,648,600	△ 5,924,000
退職給付引当資産	329,937,508	320,390,846	9,546,662
減価償却引当資産	514,864,376	388,216,299	126,648,077
特定資産合計	853,526,484	723,255,745	130,270,739
<b>(3) その他固定資産</b>			
建物附属設備	4,990,299	5,087,073	△ 96,774
什器備品	92,229,381	136,169,110	△ 43,939,729
ソフトウェア	131,330,378	210,127,624	△ 78,797,246
電話加入権	166,500	168,000	△ 1,500
敷金	20,360,208	23,090,304	△ 2,730,096
保証金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	249,106,766	374,672,111	△ 125,565,345
固定資産合計	3,632,633,250	4,127,927,856	△ 495,294,606
資産合計	4,320,177,853	4,697,524,546	△ 377,346,693
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	63,227,818	49,620,212	13,607,606
前受金	22,902,207	22,454,367	447,840
預り金	21,531,443	22,725,143	△ 1,193,700
特別手当引当金	57,369,260	62,424,662	△ 5,055,402
流動負債合計	165,030,728	157,224,384	7,806,344
<b>2 固定負債</b>			
役員退職慰労引当金	8,724,600	14,648,600	△ 5,924,000
退職給付引当金	329,937,508	320,390,846	9,546,662
固定負債合計	338,662,108	335,039,446	3,622,662
負債合計	503,692,836	492,263,830	11,429,006
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
寄付金	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産合計	128,500,000	128,500,000	0
(うち基本財産への充当額)	(128,500,000)	(128,500,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
<b>2 一般正味財産</b>			
一般正味財産	3,687,985,017	4,076,760,716	△ 388,775,699
(うち基本財産への充当額)	(2,401,500,000)	(2,901,500,000)	(△ 500,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(514,864,376)	(388,216,299)	(126,648,077)
正味財産合計	3,816,485,017	4,205,260,716	△ 388,775,699
負債及び正味財産合計	4,320,177,853	4,697,524,546	△ 377,346,693

# 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	16,530,933	16,125,622	405,311
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	8,319	28,000	△ 19,681
③ 受取試験手数料	1,958,321,200	1,975,308,800	△ 16,987,600
危険物取扱者試験手数料	1,454,787,000	1,475,481,400	△ 20,694,400
消防設備士試験手数料	458,699,200	458,162,400	536,800
予防技術検定手数料	44,835,000	41,665,000	3,170,000
④ 受取免状受託料	512,998,955	489,146,545	23,852,410
危険物取扱者免状受託料	432,248,111	411,937,816	20,310,295
消防設備士免状受託料	70,982,548	68,176,445	2,806,103
写真書換促進業務受託料	9,768,296	9,032,284	736,012
⑤ 雑収益	2,366,008	2,102,153	263,855
受取利息	7,543	21,742	△ 14,199
証紙等手数料	321,670	293,665	28,005
免状交付等手数料徴収事務受託料	879,120	889,137	△ 10,017
雑収益	1,157,675	897,609	260,066
経常収益計	2,490,225,415	2,482,711,120	7,514,295
(2) 経常費用			
① 事業費	2,784,198,600	2,840,852,486	△ 56,653,886
役員報酬	20,758,419	23,183,173	△ 2,424,754
給料手当	1,007,453,197	1,019,370,279	△ 11,917,082
法定福利費	155,962,005	160,919,547	△ 4,957,542
福利厚生費	23,612,614	24,338,089	△ 725,475
役員退職慰労引当金繰入額	2,811,060	3,094,740	△ 283,680
退職給付費用	37,714,766	46,698,646	△ 8,983,880
特別手当引当金繰入額	53,307,792	58,397,494	△ 5,089,702
試験監督員賃金	235,064,570	228,487,851	6,576,719
臨時雇賃金	52,617,201	44,824,797	7,792,404
諸謝金	8,624,747	11,525,651	△ 2,900,904
事務所等賃借料	174,268,320	170,605,807	3,662,513
試験会場賃借料	91,390,796	88,998,957	2,391,839
事業負担金	13,000,000	10,000,000	3,000,000
リース料	27,452,002	28,348,857	△ 896,855
光熱水料費	13,702,845	13,099,981	602,864
通信運搬費	165,565,612	165,765,990	△ 200,378
印刷製本費	141,778,260	144,661,668	△ 2,883,408
委託費	192,617,470	206,534,845	△ 13,917,375
保守管理費	5,844,641	5,644,063	200,578
旅費交通費	37,526,648	43,993,167	△ 6,466,519
電子申請試験手数料収納費	29,096,807	28,625,830	470,977
消耗什器備品費	480,216	19,032	461,184
消耗品費	43,710,046	40,183,663	3,526,383
会議費	20,928,533	22,980,528	△ 2,051,995
広告費	21,620,374	25,178,154	△ 3,557,780
消防防災等推進事業助成金	38,357,197	40,262,416	△ 1,905,219
諸会費	816,201	871,916	△ 55,715
災害保険料	1,045,270	1,129,025	△ 83,755
租税公課	24,979,898	35,681,291	△ 10,701,393
減価償却費	127,440,098	131,583,157	△ 4,143,059
雑費	14,650,995	15,843,872	△ 1,192,877

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費	94,776,863	97,770,950	△ 2,994,087
役員報酬	21,407,893	22,384,710	△ 976,817
給料手当	28,980,445	28,344,692	635,753
法定福利費	6,003,046	6,318,357	△ 315,311
福利厚生費	1,519,252	1,674,400	△ 155,148
役員退職慰労引当金繰入額	3,208,340	2,966,660	241,680
退職給付費用	821,532	1,683,043	△ 861,511
特別手当引当金繰入額	4,061,468	4,027,168	34,300
臨時雇賃金	2,037,889	1,802,951	234,938
諸謝金	1,266,237	1,894,421	△ 628,184
事務所等賃借料	12,886,213	12,886,215	△ 2
運営負担金	3,800,000	3,800,000	0
リース料	100,972	133,224	△ 32,252
光熱水料費	712,299	705,955	6,344
通信運搬費	666,300	633,294	33,006
印刷製本費	512,836	438,410	74,426
委託費	994,549	1,475,029	△ 480,480
保守管理費	385,028	436,205	△ 51,177
旅費交通費	699,014	1,106,170	△ 407,156
消耗品費	662,287	665,719	△ 3,432
会議費	747,416	1,090,672	△ 343,256
広告費	109,310	20,664	88,646
諸会費	98,560	116,928	△ 18,368
災害保険料	163,250	161,665	1,585
租税公課	2,721,292	2,522,070	199,222
雑費	211,435	482,328	△ 270,893
経常費用計	2,878,975,463	2,938,623,436	△ 59,647,973
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 388,750,048	△ 455,912,316	67,162,268
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 388,750,048	△ 455,912,316	67,162,268
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	24,151	83,629	△ 59,478
建物附属設備除却損	17,602	83,628	△ 66,026
什器備品除却損	6,549	1	6,548
② 固定資産評価損	1,500	0	1,500
電話加入権評価損	1,500	0	1,500
経常外費用計	25,651	83,629	△ 57,978
当期経常外増減額	△ 25,651	△ 83,629	57,978
当期一般正味財産増減額	△ 388,775,699	△ 455,995,945	67,220,246
一般正味財産期首残高	4,076,760,716	4,532,756,661	△ 455,995,945
一般正味財産期末残高	3,687,985,017	4,076,760,716	△ 388,775,699
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	128,500,000	128,500,000	0
指定正味財産期末残高	128,500,000	128,500,000	0
III 正味財産期末残高	3,816,485,017	4,205,260,716	△ 388,775,699

# 平成29年度の試験実施結果について —業務部—

当センターが平成29年度に実施した、危険物取扱者試験、消防設備士試験及び予防技術検定の試験実施結果は次のとおりです。

## 1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果の概要

危険物取扱者試験及び消防設備士試験の全国における試験実施回数及び受験申請者等の状況は(表1)のとおりです。危険物取扱者試験の受験申請者数は、ここ数年減少傾向を示しています。

■ 表1 危険物取扱者試験及び消防設備士試験の実施結果 (単位：回、人)

年 度	区 分	危険物取扱者試験	消防設備士試験	合 計
平成27年度	試験実施回数	3,291	1,460	4,751
	申請者数	441,906	107,804	549,710
	受験者数	401,096	84,848	485,944
	合格者数	152,111	27,516	179,627
平成28年度	試験実施回数	3,408	1,508	4,916
	申請者数	431,339	108,284	539,623
	受験者数	388,505	84,337	472,842
	合格者数	145,016	29,117	174,133
平成29年度	試験実施回数	3,404	1,508	4,912
	申請者数	422,740	108,920	531,660
	受験者数	381,043	84,419	465,462
	合格者数	160,378	29,733	190,111
対前年度	試験実施回数	-4	0	-4
	申請者数	-8,599	+636	-7,963
	受験者数	-7,462	+82	-7,380
	合格者数	+15,362	+616	+15,978

## 2 危険物取扱者試験の実施状況

### (1) 試験実施回数の状況 (表2)

試験実施回数は、3,404回で、前年度の3,408回に比べ4回減少しました。

■ 表2 危険物取扱者試験の実施回数 (単位：回)

年 度	甲 種	乙 種							丙 種	合 計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小 計		
平成27年度	282	374	368	384	709	385	390	2,610	399	3,291
平成28年度	297	383	385	387	739	398	399	2,691	420	3,408
平成29年度	305	385	376	390	763	383	395	2,692	407	3,404
対前年度	+8	+2	-9	+3	+24	-15	-4	+1	-13	-4

### (2) 種類別受験申請者の状況 (表3)

全受験申請者数は422,740人と、前年度に比べ8,599人の減少となりました。種類別に増減数を見ると、乙種第2, 4類以外の乙種の申請者に増加傾向が見られます。

乙種第4類は、ガソリン、灯油、重油等の最も一般的な危険物の取扱い等に必要な資格であることから、種類別受験申請者数ではその数が289,795人(全体の68.6%)と最も多くなっています。この傾向は例年とおりです。

■ 表3 危険物取扱者試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人, %)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成27年度	申請者	26,658	13,951	13,581	15,008	303,615	14,660	16,591	377,406	37,842	441,906
	構成割合	6.0	3.2	3.1	3.4	68.7	3.3	3.8	85.4	8.6	100
平成28年度	申請者	26,639	13,114	12,669	14,014	299,080	14,042	15,246	368,165	36,535	431,339
	構成割合	6.2	3.0	2.9	3.2	69.3	3.3	3.5	85.4	8.5	100
平成29年度	申請者	26,287	13,568	12,566	14,570	289,795	14,751	16,077	361,327	35,126	422,740
	構成割合	6.2	3.2	3.0	3.4	68.6	3.5	3.8	85.5	8.3	100
対前年度	申請者	-352	+454	-103	+556	-9,285	+709	+831	-6,838	-1,409	-8,599

### (3) 種類別合格率の状況 (表4)

全体の合格率は42.1%であり、前年度と比較すると、4.8ポイントの増加でした。

種類ごとの合格率を見ると、甲種が37.3%、乙種第4類が34.4%と、例年同様他の種類と比較して低い値となっています。

■ 表4 危険物取扱者試験の種類別合格率 (単位：人, %)

年度	区分	甲種	乙種							丙種	合計
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計		
平成27年度	受験者	22,905	13,456	13,105	14,397	271,234	14,122	16,085	342,399	35,792	401,096
	合格者	7,381	8,962	8,592	9,728	79,718	9,593	10,521	127,114	17,616	152,111
	合格率	32.2	66.6	65.6	67.6	29.4	67.9	65.4	37.1	49.2	37.9
平成28年度	受験者	22,845	12,586	12,151	13,403	264,946	13,510	14,662	331,258	34,402	388,505
	合格者	7,653	8,250	8,171	9,165	76,575	9,039	9,425	120,625	16,738	145,016
	合格率	33.5	65.5	67.2	68.4	28.9	66.9	64.3	36.4	48.7	37.3
平成29年度	受験者	22,504	13,047	12,074	13,992	256,587	14,186	15,525	325,411	33,128	381,043
	合格者	8,388	8,923	8,561	9,677	88,328	9,850	9,871	135,210	16,780	160,378
	合格率	37.3	68.4	70.9	69.2	34.4	69.4	63.6	41.6	50.7	42.1

### (4) 職業別受験状況 (表5-1、表5-2)

受験申請者の職業別構成(表5-1)を見ると、高校生が最も多く全体の32.5%を占めるなど、その割合は前年度とほぼ同様の傾向が見られますが、高校生の受験申請者数は3,922人の減少、その割合は0.3ポイントの減少でした(前年度は141,325人32.8%)。また、高校生の甲種受験申請者は954人(前年度900人)でした。

平成19年度、24年度と比較(表5-2)すると高校生の受験申請者が、その人数、割合ともに大きく減少していることや、ガソリンスタンド従業員の受験申請者数が減少傾向にあることがわかります。

■ 表 5-1 危険物取扱者試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業等	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
高校生	申請者	954	6,538	5,001	5,382	80,202	5,588	7,920	110,631	25,818	137,403	32.5
	受験者	927	6,446	4,941	5,317	77,210	5,520	7,815	107,249	24,836	133,012	
	合格者	195	3,969	3,199	3,257	17,509	3,401	4,274	35,609	11,409	47,213	
	合格率	21.0	61.6	64.7	61.3	22.7	61.6	54.7	33.2	45.9	35.5	
高校以外の学生、教育・研究機関	申請者	4,603	471	371	639	18,317	588	527	20,913	879	26,395	6.2
	受験者	4,100	446	356	617	15,962	563	508	18,452	808	23,360	
	合格者	1,791	324	280	437	6,885	409	368	8,703	486	10,980	
	合格率	43.7	72.6	78.7	70.8	43.1	72.6	72.4	47.2	60.1	47.0	
ガソリンスタンド	申請者	100	35	46	55	23,371	47	43	23,597	1,053	24,750	5.9
	受験者	81	32	41	53	20,167	39	37	20,369	930	21,380	
	合格者	15	21	26	27	5,005	25	21	5,125	441	5,581	
	合格率	18.5	65.6	63.4	50.9	24.8	64.1	56.8	25.2	47.4	26.1	
化学工業	申請者	8,012	753	1,022	923	12,648	1,371	750	17,467	29	25,508	6.0
	受験者	7,046	723	970	877	11,121	1,306	711	15,708	27	22,781	
	合格者	2,814	497	658	602	3,856	914	507	7,034	18	9,866	
	合格率	39.9	68.7	67.8	68.6	34.7	70.0	71.3	44.8	66.7	43.3	
危険物の卸売業、小売業	申請者	210	122	148	157	8,043	157	145	8,772	736	9,718	2.3
	受験者	177	111	142	148	6,740	151	140	7,432	644	8,253	
	合格者	42	88	103	120	2,618	116	98	3,143	417	3,602	
	合格率	23.7	79.3	72.5	81.1	38.8	76.8	70.0	42.3	64.8	43.6	
危険物の運送業	申請者	115	189	247	217	4,512	222	357	5,744	700	6,559	1.6
	受験者	82	177	231	195	3,703	210	326	4,842	583	5,507	
	合格者	20	125	159	147	1,090	143	190	1,854	364	2,238	
	合格率	24.4	70.6	68.8	75.4	29.4	68.1	58.3	38.3	62.4	40.6	
危険物を扱うその他の事業	申請者	5,259	1,639	2,173	1,997	59,625	2,108	1,927	69,469	1,533	76,261	18.0
	受験者	4,468	1,538	2,032	1,889	52,010	1,987	1,814	61,270	1,400	67,138	
	合格者	1,656	1,081	1,489	1,374	19,407	1,438	1,260	26,049	929	28,634	
	合格率	37.1	70.3	73.3	72.7	37.3	72.4	69.5	42.5	66.4	42.6	
公務員	申請者	1,226	973	916	1,460	13,935	1,200	1,101	19,585	405	21,216	5.0
	受験者	1,038	919	878	1,391	12,407	1,142	1,056	17,793	377	19,208	
	合格者	361	744	724	1,078	7,416	879	831	11,672	339	12,372	
	合格率	34.8	81.0	82.5	77.5	59.8	77.0	78.7	65.6	89.9	64.4	
その他	申請者	5,347	2,685	2,466	3,523	62,690	3,232	3,034	77,630	3,377	86,354	20.4
	受験者	4,201	2,498	2,314	3,292	51,552	3,038	2,856	65,550	2,979	72,730	
	合格者	1,373	1,969	1,804	2,502	23,059	2,371	2,166	33,871	2,105	37,349	
	合格率	32.7	78.8	78.0	76.0	44.7	78.0	75.8	51.7	70.7	51.4	
未入力	申請者	461	163	176	217	6,452	238	273	7,519	596	8,576	2.0
	受験者	384	157	169	213	5,715	230	262	6,746	544	7,674	
	合格者	121	105	119	133	1,483	154	156	2,150	272	2,543	
	合格率	31.5	66.9	70.4	62.4	25.9	67.0	59.5	31.9	50.0	33.1	
合計	申請者	26,287	13,568	12,566	14,570	289,795	14,751	16,077	361,327	35,126	422,740	100
	受験者	22,504	13,047	12,074	13,992	256,587	14,186	15,525	325,411	33,128	381,043	
	合格者	8,388	8,923	8,561	9,677	88,328	9,850	9,871	135,210	16,780	160,378	
	合格率	37.3	68.4	70.9	69.2	34.4	69.4	63.6	41.6	50.7	42.1	

■ 表 5-2 危険物取扱者試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	高校生	高校生以外の学生等	ガソリンスタンド	化学工業	危険物卸・小売業	危険物の運送業	危険物を扱うその他の事業	公務員	その他	未入力	合計
平成19年度	申請者数	220,825	38,926	35,513	25,995	9,116	6,596	77,999	18,232	78,131	7,119	518,452
	構成割合	42.6	7.5	6.8	5.0	1.8	1.3	15.0	3.5	15.1	1.4	100
平成24年度	申請者数	191,966	34,111	28,023	27,831	9,335	6,362	77,560	20,560	94,840	7,841	498,429
	構成割合	38.5	6.8	5.6	5.6	1.9	1.3	15.6	4.1	19.0	1.6	100
平成29年度	申請者数	137,403	26,395	24,750	25,508	9,718	6,559	76,261	21,216	86,354	8,576	422,740
	構成割合	32.5	6.2	5.9	6.0	2.3	1.6	18.0	5.0	20.4	2.0	100

### (5) 年代別受験状況 (表6)

高校生の受験申請者が多数を占めることから、20歳代未満の受験申請者が38.1%と高い値となっています。年齢別構成割合は、前年度とほぼ同様の傾向を示しています。今後、少子高齢化の影響により、その割合が変化していくことが予想されます。

合格率を年代別に見ると、全体的には60歳代までは年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表6 危険物取扱者試験の年代別受験状況

(単位：人，%)

年代	区分	甲種	乙種							丙種	合計	申請者の構成割合
			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	小計			
20代未満	申請者	1,315	6,829	5,347	5,826	100,400	5,993	8,309	132,704	27,211	161,230	38.1
	受験者	1,273	6,728	5,278	5,743	95,490	5,905	8,187	127,331	26,137	154,741	
	合格者	301	4,152	3,433	3,525	23,303	3,651	4,506	42,570	12,112	54,983	
	合格率	23.6	61.7	65.0	61.4	24.4	61.8	55.0	33.4	46.3	35.5	
20代	申請者	12,954	1,758	1,928	2,509	74,620	2,338	2,110	85,263	2,160	100,377	23.7
	受験者	11,422	1,639	1,796	2,366	64,101	2,212	1,979	74,093	1,927	87,442	
	合格者	5,168	1,182	1,311	1,703	25,598	1,602	1,389	32,785	1,157	39,110	
	合格率	45.2	72.1	73.0	72.0	39.9	72.4	70.2	44.2	60.0	44.7	
30代	申請者	5,636	1,898	2,034	2,336	49,374	2,447	2,201	60,290	2,001	67,927	16.1
	受験者	4,553	1,782	1,919	2,198	41,890	2,299	2,077	52,165	1,755	58,473	
	合格者	1,493	1,356	1,466	1,668	16,500	1,722	1,521	24,233	1,160	26,886	
	合格率	32.8	76.1	76.4	75.9	39.4	74.9	73.2	46.5	66.1	46.0	
40代	申請者	4,056	1,870	2,043	2,358	41,226	2,450	2,165	52,112	2,101	58,269	13.8
	受験者	3,363	1,768	1,935	2,223	34,703	2,325	2,044	44,998	1,833	50,194	
	合格者	887	1,353	1,477	1,686	13,528	1,764	1,541	21,349	1,280	23,516	
	合格率	26.4	76.5	76.3	75.8	39.0	75.9	75.4	47.4	69.8	46.9	
50代	申請者	1,880	984	999	1,238	19,030	1,232	1,042	24,525	1,135	27,540	6.5
	受験者	1,529	913	935	1,179	16,019	1,165	998	21,209	1,012	23,750	
	合格者	427	709	712	883	7,111	890	737	11,042	738	12,207	
	合格率	27.9	77.7	76.1	74.9	44.4	76.4	73.8	52.1	72.9	51.4	
60代	申請者	431	213	200	278	4,731	271	227	5,920	468	6,819	1.6
	受験者	351	202	197	260	4,036	262	219	5,176	421	5,948	
	合格者	107	159	151	195	2,162	210	161	3,038	310	3,455	
	合格率	30.5	78.7	76.6	75.0	53.6	80.2	73.5	58.7	73.6	58.1	
70代以上	申請者	15	16	15	25	414	20	23	513	50	578	0.1
	受験者	13	15	14	23	348	18	21	439	43	495	
	合格者	5	12	11	17	126	11	16	193	23	221	
	合格率	38.5	80.0	78.6	73.9	36.2	61.1	76.2	44.0	53.5	44.6	
合計	申請者	26,287	13,568	12,566	14,570	289,795	14,751	16,077	361,327	35,126	422,740	100
	受験者	22,504	13,047	12,074	13,992	256,587	14,186	15,525	325,411	33,128	381,043	
	合格者	8,388	8,923	8,561	9,677	88,328	9,850	9,871	135,210	16,780	160,378	
	合格率	37.3	68.4	70.9	69.2	34.4	69.4	63.6	41.6	50.7	42.1	

### 3 消防設備士試験の実施状況

#### (1) 試験実施回数 (表7)

試験実施回数は、1,508回で前年度と同数になりました。

■ 表7 消防設備士試験の種類別試験実施回数

(単位：回)

年度	甲種							乙種							合計	
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小計
平成27年度	98	120	108	110	128	108	672	109	100	100	126	103	134	116	788	1,460
平成28年度	101	124	110	113	134	110	692	113	101	103	132	107	137	123	816	1,508
平成29年度	100	122	111	113	129	111	686	115	104	101	130	106	142	124	822	1,508
対前年度	-1	-2	+1	0	-5	+1	-6	+2	+3	-2	-2	-1	+5	+1	+6	0

(2) 種類別受験申請者数の状況 (表8)

全受験申請者は108,920人であり、前年度の108,284人に比べ636人の増加となりました。

■ 表8 消防設備士試験の種類別受験申請者の状況 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成27年度	申請者	1,396	16,029	3,790	4,174	25,011	4,002	54,402	3,236	898	962	15,181	1,167	25,119	6,839	53,402	107,804
	構成割合	1.3	14.9	3.5	3.9	23.2	3.7	50.5	3.0	0.8	0.9	14.1	1.1	23.3	6.3	49.5	100
平成28年度	申請者	1,502	16,424	4,142	4,371	25,640	4,169	56,248	3,299	903	964	12,829	1,217	26,096	6,728	52,036	108,284
	構成割合	1.4	15.2	3.8	4.0	23.7	3.9	51.9	3.0	0.8	0.9	11.8	1.1	24.1	6.2	48.1	100
平成29年度	申請者	1,508	15,774	4,137	4,358	25,265	4,190	55,232	3,155	885	1,002	13,414	1,179	27,182	6,871	53,688	108,920
	構成割合	1.4	14.5	3.8	4.0	23.2	3.8	50.7	2.9	0.8	0.9	12.3	1.1	25.0	6.3	49.3	100
対前年度		+6	-650	-5	-13	-375	+21	-1,016	-144	-18	+38	+585	-38	+1,086	+143	+1,652	+636

(3) 種類別合格率の状況 (表9)

全体の合格率は35.2%であり、前年度と比較すると、0.7ポイントの上昇でした。

■ 表9 消防設備士試験の種類別合格率 (単位：人，%)

年度	区分	甲 種							乙 種							合計	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		小 計
平成27年度	受験者	1,168	11,927	3,025	3,326	18,958	3,265	41,669	2,622	752	802	12,068	958	20,099	5,878	43,179	84,848
	合格者	190	2,712	892	877	5,494	1,048	11,213	754	228	262	3,418	376	7,888	3,377	16,303	27,516
	合格率	16.3	22.7	29.5	26.4	29.0	32.1	26.9	28.8	30.3	32.7	28.3	39.2	39.2	57.5	37.8	32.4
平成28年度	受験者	1,289	12,044	3,313	3,447	19,301	3,298	42,692	2,669	752	809	10,072	984	20,627	5,732	41,645	84,337
	合格者	212	2,958	1,086	1,090	6,403	1,210	12,959	766	263	226	3,277	459	7,807	3,360	16,158	29,117
	合格率	16.4	24.6	32.8	31.6	33.2	36.7	30.4	28.7	35.0	27.9	32.5	46.6	37.8	58.6	38.8	34.5
平成29年度	受験者	1,228	11,360	3,156	3,385	19,033	3,280	41,442	2,531	732	860	10,405	935	21,623	5,891	42,977	84,419
	合格者	303	3,222	1,224	1,160	5,845	1,239	12,993	780	268	257	3,367	397	8,188	3,483	16,740	29,733
	合格率	24.7	28.4	38.8	34.3	30.7	37.8	31.4	30.8	36.6	29.9	32.4	42.5	37.9	59.1	39.0	35.2

(4) 筆記試験、実技試験の合格者の状況 (表10)

消防設備士試験には、筆記試験と実技試験の2つの試験がありますが、筆記試験の合格率は58.4%でした。筆記試験合格者のうち実技試験にも合格した者の全受験者に対する割合(最終合格率)は35.2%でした。

■ 表10 消防設備士試験の筆記試験、実技試験の合格状況 (単位：人，%)

試験種類	区分	甲 種							乙 種							合計
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類		
申請者数		1,508	15,774	4,137	4,358	25,265	4,190	55,232	3,155	885	1,002	13,414	1,179	27,182	6,871	108,920
受験者数		1,228	11,360	3,156	3,385	19,033	3,280	41,442	2,531	732	860	10,405	935	21,623	5,891	84,419
筆 記	合格者数	303	5,155	2,088	2,233	11,182	1,965	13,965	1,396	460	558	6,661	585	12,899	3,838	49,323
	合格率	24.7	45.4	66.2	66.0	58.8	59.9	55.2	55.2	62.8	64.9	64.0	62.6	59.7	65.2	58.4
実 技	合格者数	—	3,222	1,224	1,160	5,845	1,239	780	268	257	3,367	396	8,184	848	26,790	
	合格率	—	62.5	58.6	51.9	52.3	63.1	55.9	58.3	46.1	50.5	67.8	63.5	70.5	57.8	
最 終	合格者数	303	3,222	1,224	1,160	5,845	1,239	780	268	257	3,367	397	8,188	3,483	29,733	
	合格率	24.7	28.4	38.8	34.3	30.7	37.8	30.8	36.6	29.9	32.4	42.5	37.9	59.1	35.2	

(5) 職業別受験状況 (表11-1、表11-2)

受験申請者の職業のうち、最も多い職業は消防設備業であり、電気工事業、ビル管理業、管工事業がこれに次いで多くの割合を占めています。この傾向はほぼ例年どおりであり、これらの職業の従事者で全体の過半数を占めています。

職業別受験申請者数の推移(表11-2)については、ここ数年その構成割合に大きな変化は認められません。

■ 表 11-1 消防設備士試験の職業別受験状況

(単位：人，%)

職業	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
学生	申請者	2	163	11	5	1,012	20	1,213	109	3	2	880	16	721	1,094	2,825	4,038	3.7
	受験者	2	133	10	4	849	17	1,015	92	2	1	746	13	594	1,033	2,481	3,496	
	合格者	2	49	1	1	283	11	347	30	1	1	246	3	243	511	1,035	1,382	
	合格率	100.0	36.8	10.0	25.0	33.3	64.7	34.2	32.6	50.0	100.0	33.0	23.1	40.9	49.5	41.7	39.5	
消防設備業	申請者	645	3,493	1,732	2,012	4,353	2,096	14,331	316	96	181	719	163	5,873	722	8,070	22,401	20.6
	受験者	527	2,605	1,309	1,526	3,499	1,613	11,079	245	74	154	557	134	4,754	599	6,517	17,596	
	合格者	115	592	392	418	981	420	2,918	58	24	34	157	45	1,297	330	1,945	4,863	
	合格率	21.8	22.7	29.9	27.4	28.0	26.0	26.3	23.7	32.4	22.1	28.2	33.6	27.3	55.1	29.8	27.6	
電気工事業	申請者	75	695	164	289	9,376	293	10,892	96	23	48	1,141	52	1,638	1,548	4,546	15,438	14.2
	受験者	59	476	128	202	6,889	224	7,978	80	21	40	839	42	1,249	1,289	3,560	11,538	
	合格者	10	148	61	60	1,606	74	1,959	25	9	13	175	21	409	665	1,317	3,276	
	合格率	16.9	31.1	47.7	29.7	23.3	33.0	24.6	31.3	42.9	32.5	20.9	50.0	32.7	51.6	37.0	28.4	
管工事業	申請者	67	6,163	654	390	636	147	8,057	211	19	9	164	13	866	101	1,383	9,440	8.7
	受験者	54	4,289	460	296	414	115	5,628	145	13	8	126	10	634	83	1,019	6,647	
	合格者	15	861	169	97	115	58	1,315	25	4	4	30	3	206	47	319	1,634	
	合格率	27.8	20.1	36.7	32.8	27.8	50.4	23.4	17.2	30.8	50.0	23.8	30.0	32.5	56.6	31.3	24.6	
建築業	申請者	35	1,591	214	155	1,541	174	3,710	111	13	21	502	36	866	182	1,731	5,441	5.0
	受験者	26	1,104	152	119	1,045	124	2,570	86	5	18	361	22	658	141	1,291	3,861	
	合格者	4	334	58	55	336	66	853	17	1	1	64	10	242	81	416	1,269	
	合格率	15.4	30.3	38.2	46.2	32.2	53.2	33.2	19.8	20.0	5.6	17.7	45.5	36.8	57.4	32.2	32.9	
ビル管理業	申請者	192	1,224	492	503	2,805	560	5,776	453	142	164	1,982	244	3,314	1,000	7,299	13,075	12.0
	受験者	156	878	387	401	2,049	454	4,325	348	116	136	1,488	202	2,509	854	5,653	9,978	
	合格者	35	394	193	183	792	216	1,813	146	50	51	459	81	1,015	588	2,390	4,203	
	合格率	22.4	44.9	49.9	45.6	38.7	47.6	41.9	42.0	43.1	37.5	30.8	40.1	40.5	68.9	42.3	42.1	
ビル整備業	申請者	10	50	11	17	81	13	182	10	4	4	85	9	147	32	291	473	0.4
	受験者	6	35	7	12	60	12	132	9	2	2	69	8	102	29	221	353	
	合格者	1	13	2	0	20	4	40	3	0	2	15	2	37	14	73	113	
	合格率	16.7	37.1	28.6	0.0	33.3	33.3	30.3	33.3	0.0	100.0	21.7	25.0	36.3	48.3	33.0	32.0	
公務員	申請者	100	452	184	240	818	234	2,028	283	71	91	967	153	2,317	363	4,245	6,273	5.8
	受験者	90	367	168	214	671	204	1,714	242	62	76	791	128	1,939	320	3,558	5,272	
	合格者	50	244	107	107	365	139	1,012	95	37	40	334	71	978	208	1,763	2,775	
	合格率	55.6	66.5	63.7	50.0	54.4	68.1	59.0	39.3	59.7	52.6	42.2	55.5	50.4	65.0	49.6	52.6	
その他	申請者	372	1,769	650	713	4,310	626	8,440	1,527	508	473	6,821	478	11,070	1,747	22,624	31,064	28.5
	受験者	299	1,348	513	583	3,320	496	6,559	1,250	432	417	5,302	366	8,885	1,480	18,132	24,691	
	合格者	70	574	235	236	1,309	247	2,671	375	141	107	1,848	154	3,689	1,012	7,326	9,997	
	合格率	23.4	42.6	45.8	40.5	39.4	49.8	40.7	30.0	32.6	25.7	34.9	42.1	41.5	68.4	40.4	40.5	
未入力	申請者	10	174	25	34	333	27	603	39	6	9	153	15	370	82	674	1,277	1.2
	受験者	9	125	22	28	237	21	442	34	5	8	126	10	299	63	545	987	
	合格者	1	13	6	3	38	4	65	6	1	4	39	7	72	27	156	221	
	合格率	11.1	10.4	27.3	10.7	16.0	19.0	14.7	17.6	20.0	50.0	31.0	70.0	24.1	42.9	28.6	22.4	
合 計	申請者	1,508	15,774	4,137	4,358	25,265	4,190	55,232	3,155	885	1,002	13,414	1,179	27,182	6,871	53,688	108,920	100
	受験者	1,228	11,360	3,156	3,385	19,033	3,280	41,442	2,531	732	860	10,405	935	21,623	5,891	42,977	84,419	
	合格者	303	3,222	1,224	1,160	5,845	1,239	12,993	780	268	257	3,367	397	8,188	3,483	16,740	29,733	
	合格率	24.7	28.4	38.8	34.3	30.7	37.8	31.4	30.8	36.6	29.9	32.4	42.5	37.9	59.1	39.0	35.2	

■ 表 11-2 消防設備士試験の職業別受験申請者数の推移

(単位：人，%)

年度	区分	学 生	消防設備業	電気工事業	管工事業	建築業	ビル管理業	ビル整備業	公務員	その他	未入力	合計
平成19年度	申請者数	3,878	16,853	10,957	6,225	2,794	9,374	289	4,933	22,722	598	78,623
	構成割合	4.9	21.4	13.9	7.9	3.6	11.9	0.4	6.3	28.9	0.8	100
平成24年度	申請者数	5,238	20,054	13,101	8,370	4,146	12,183	391	5,355	31,349	1,226	101,413
	構成割合	5.2	19.8	12.9	8.3	4.1	12.0	0.4	5.3	30.9	1.2	100
平成29年度	申請者数	4,038	22,401	15,438	9,440	5,441	13,075	473	6,273	31,064	1,277	108,920
	構成割合	3.7	20.6	14.2	8.7	5.0	12.0	0.4	5.8	28.5	1.2	100

(6) 年代別受験状況 (表12)

年代別に見た場合、20歳代未満の受験申請者割合は3.3%であり、危険物取扱者試験のように、20歳代未満の受験申請者が際立って多いことはありません。30歳代の割合が最も多く28.4%を占め、20歳代、40歳代の割合がこれに続きます。

年代別合格率は、危険物取扱者試験と同じく、全体的には60歳代までは概ね年代が上がるにつれ高くなる傾向が見られます。

■ 表 12 消防設備士試験の年代別受験状況 (単位：人，%)

年代	区分	甲 種							乙 種							合計	申請者の構成割合	
		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類			小 計
20代未満	申請者	0	178	5	8	913	5	1,109	72	1	1	473	12	908	1,072	2,539	3,648	3.3
	受験者	0	136	3	6	804	2	951	66	0	0	423	11	790	1,019	2,309	3,260	
	合格者	0	13	0	0	180	1	194	12	0	0	69	2	215	496	794	988	
	合格率	0.0	9.6	0.0	0.0	22.4	50.0	20.4	18.2	0.0	0.0	16.3	18.2	27.2	48.7	31.7	30.3	
20代	申請者	70	5,041	745	690	7,985	640	15,171	721	133	161	3,076	178	8,272	1,406	13,947	29,118	26.7
	受験者	54	3,633	514	521	5,877	490	11,089	576	114	131	2,316	135	6,622	1,118	11,012	22,101	
	合格者	17	908	199	173	1,628	177	3,102	145	35	33	682	45	2,282	578	3,800	6,902	
	合格率	31.5	25.0	38.7	33.2	27.7	36.1	28.0	25.2	30.7	25.2	29.4	33.3	34.5	51.7	34.0	31.2	
30代	申請者	378	4,644	1,432	1,404	7,158	1,402	16,418	875	227	264	3,504	274	7,725	1,607	14,476	30,894	28.4
	受験者	310	3,283	1,082	1,064	5,325	1,090	12,154	686	179	224	2,671	214	6,077	1,331	11,382	23,536	
	合格者	96	976	396	368	1,731	385	3,952	207	67	76	923	91	2,372	838	4,574	8,526	
	合格率	31.0	29.7	36.6	34.6	32.5	35.3	32.5	30.2	37.4	33.9	34.6	42.5	39.0	63.0	39.1	36.2	
40代	申請者	531	4,101	1,249	1,417	6,050	1,384	14,732	848	272	313	3,318	398	6,227	1,700	13,076	27,808	25.5
	受験者	444	2,923	979	1,109	4,523	1,070	11,048	669	223	274	2,563	319	4,847	1,472	10,367	21,415	
	合格者	108	846	372	375	1,456	389	3,546	204	77	82	832	134	1,922	929	4,180	7,726	
	合格率	24.3	28.9	38.0	33.8	32.2	36.4	32.1	30.5	34.5	29.9	32.5	42.0	39.7	63.1	41.4	36.1	
50代	申請者	370	1,442	542	640	2,481	581	6,056	483	191	203	2,263	224	3,209	860	7,433	13,489	12.4
	受験者	292	1,088	429	521	1,933	479	4,742	405	167	177	1,777	172	2,575	753	6,026	10,768	
	合格者	58	369	187	183	643	211	1,651	153	67	52	596	84	1,067	513	2,532	4,183	
	合格率	19.9	33.9	43.6	35.1	33.3	44.1	34.8	37.8	40.1	29.4	33.5	48.8	41.4	68.1	43.5	38.8	
60代	申請者	145	337	151	187	629	161	1,610	145	58	54	742	85	768	214	2,066	3,676	3.4
	受験者	116	275	137	153	525	135	1,341	122	46	48	625	76	646	191	1,754	3,095	
	合格者	22	107	68	59	200	71	527	58	20	14	251	37	308	124	812	1,339	
	合格率	19.0	38.9	49.6	38.6	38.1	52.6	39.3	47.5	43.5	29.2	40.2	48.7	47.7	64.9	46.3	43.3	
70代以上	申請者	14	31	13	12	49	17	136	11	3	6	38	8	73	12	151	287	0.3
	受験者	12	22	12	11	46	14	117	7	3	6	30	8	66	7	127	244	
	合格者	2	3	2	2	7	5	21	1	2	0	14	4	22	5	48	69	
	合格率	16.7	13.6	16.7	18.2	15.2	35.7	17.9	14.3	66.7	0.0	46.7	50.0	33.3	71.4	30.2	28.3	
合計	申請者	1,508	15,774	4,137	4,358	25,265	4,190	55,232	3,155	885	1,002	13,414	1,179	27,182	6,871	53,688	108,920	100
	受験者	1,228	11,360	3,156	3,385	19,033	3,280	41,442	2,531	732	860	10,405	935	21,623	5,891	42,977	84,419	
	合格者	303	3,222	1,224	1,160	5,845	1,239	12,993	780	268	257	3,367	397	8,188	3,483	16,740	29,733	
	合格率	24.7	28.4	38.8	34.3	30.7	37.8	31.4	30.8	36.6	29.9	32.4	42.5	37.9	59.1	39.0	35.2	

4 予防技術検定の実施状況

予防技術検定は、予防技術資格者制度の発足に伴い、平成17年度から各年度1回ずつ全国一斉に実施しています。受験申請者数は順調に増加し、平成30年3月18日に実施した第13回検定では、受験申請者が8,967人と、前年度と比べ634人増加しました。

■ 表 13 予防技術検定の実施状況 (単位：人，%)

実施回	年 度	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第9回	平成25年度	6,641	6,219	3,232	52.0
第10回	平成26年度	7,151	6,771	3,270	48.3
第11回	平成27年度	7,858	7,328	2,826	38.6
第12回	平成28年度	8,333	7,813	4,556	58.3
第13回	平成29年度	8,967	8,447	4,001	47.4

# 平成29年度の免状作成等の状況について —免状部—

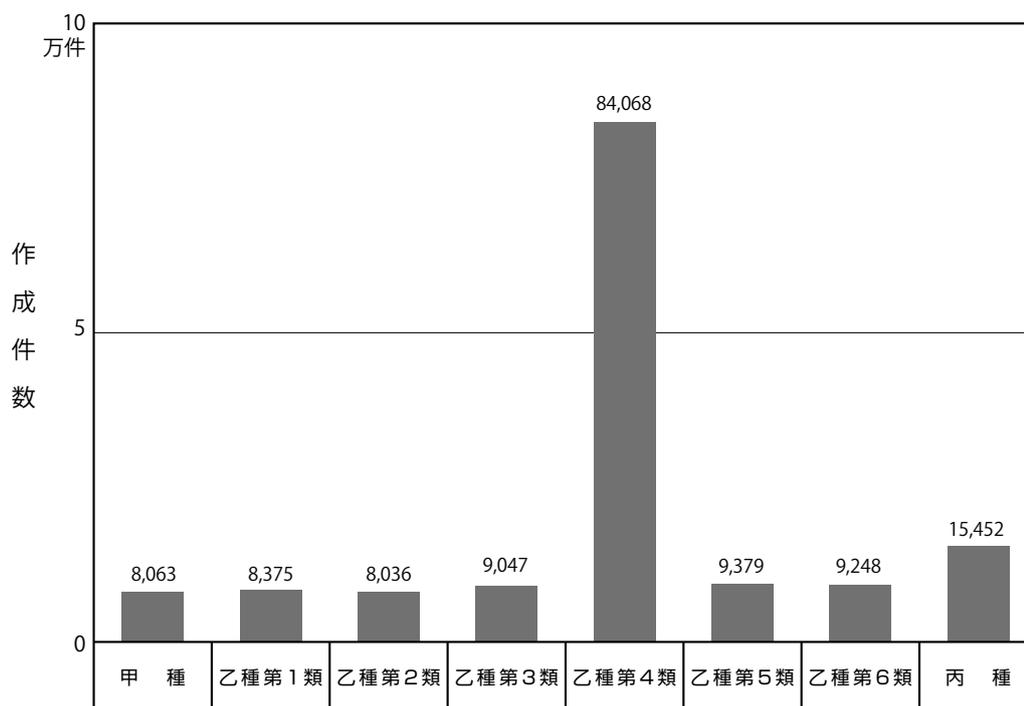
当センターが、平成29年度に都道府県から受託して作成した免状等の状況は、次のとおりです。

## 1 新規免状作成状況

### (1) 危険物取扱者

危険物取扱者の新規免状作成件数は、図1のとおり、平成28年度と比べて6.3%増の15万1千668件となっています。

■図1 平成29年度 危険物取扱者新規免状作成件数

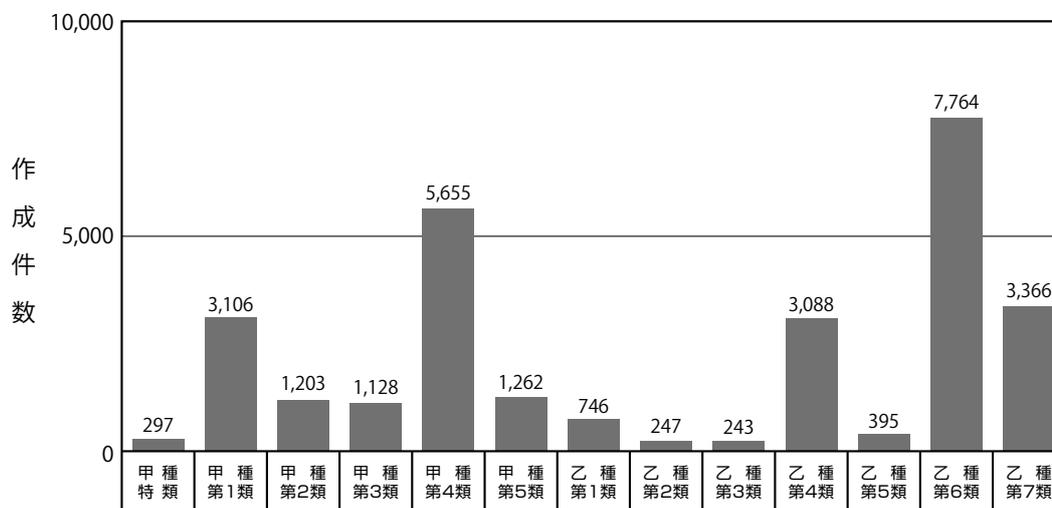


年度	甲種	乙種						丙種	合計
		第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類		
平成28年度	7,517	8,129	8,088	9,141	75,842	9,001	9,436	15,562	142,716
平成29年度	8,063	8,375	8,036	9,047	84,068	9,379	9,248	15,452	151,668
増減率	7.3%	3.0%	-0.6%	-1.0%	10.8%	4.2%	-2.0%	-0.7%	6.3%

## (2) 消防設備士

消防設備士の新規免状作成件数は、図2のとおり、平成28年度と比べて3.4%増の2万8千500件となっています。

■図2 平成29年度 消防設備士新規免状作成件数



年度	甲種						乙種							合計
	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類	
平成28年度	165	2,850	990	1,044	6,055	1,089	741	258	222	3,143	438	7,407	3,150	27,552
平成29年度	297	3,106	1,203	1,128	5,655	1,262	746	247	243	3,088	395	7,764	3,366	28,500
増減率	80.0%	9.0%	21.5%	8.0%	-6.6%	15.9%	0.7%	-4.3%	9.5%	-1.7%	-9.8%	4.8%	6.9%	3.4%

## 2 免状処理状況の推移

昭和63年度から平成29年度までの免状処理状況の推移は、図3、図4、表1及び表2のとおりです。なお、過去10年間の推移をみると次のとおりです。

### (1) 新規

ア 危険物取扱者は、平成19年度の20万7千件をピークに20万件から14万件で推移していますが、平成29年度は、前年度に比べ6.3%増の15万1千670件となっています。

イ 消防設備士は、これまで平成26年度の2万9千件がピークに2万件台で推移しています。平成29年度は、前年度に比べ3.4%増の2万8千500件となっています。

### (2) 写真書換え

ア 危険物取扱者は、平成17年度から平成20年度には8万件で推移していましたが、はがきによるお知らせ事業開始（平成19年度末）後、増加傾向を示しましたが平成23年度の13万7千件台をピークに減少傾向にありました。平成29年度は前年度に比べ0.5%の増加に転じ、10万3千434件となっています。

イ 消防設備士は、危険物取扱者同様にお知らせ事業開始後1万3千件台まで増加しました。その後減少に転じ、平成29年度は前年度に比べ0.4%減の1万1千476件となっています。

### (3) 本籍書換え

ア 危険物取扱者は、平成25年度から、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を表示しています。平成29年度は、前年度と比較して4.5%減の1千652件となっています。

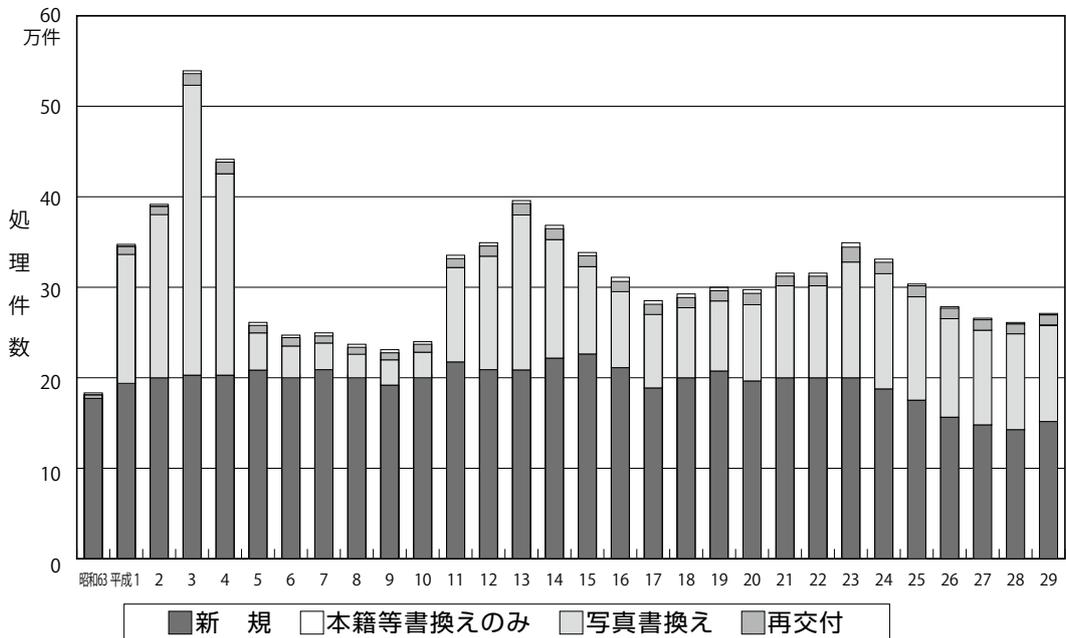
イ 消防設備士は、危険物取扱者と同様の理由により前年度と比較して20.2%減の210件となっています。

### (4) 再交付

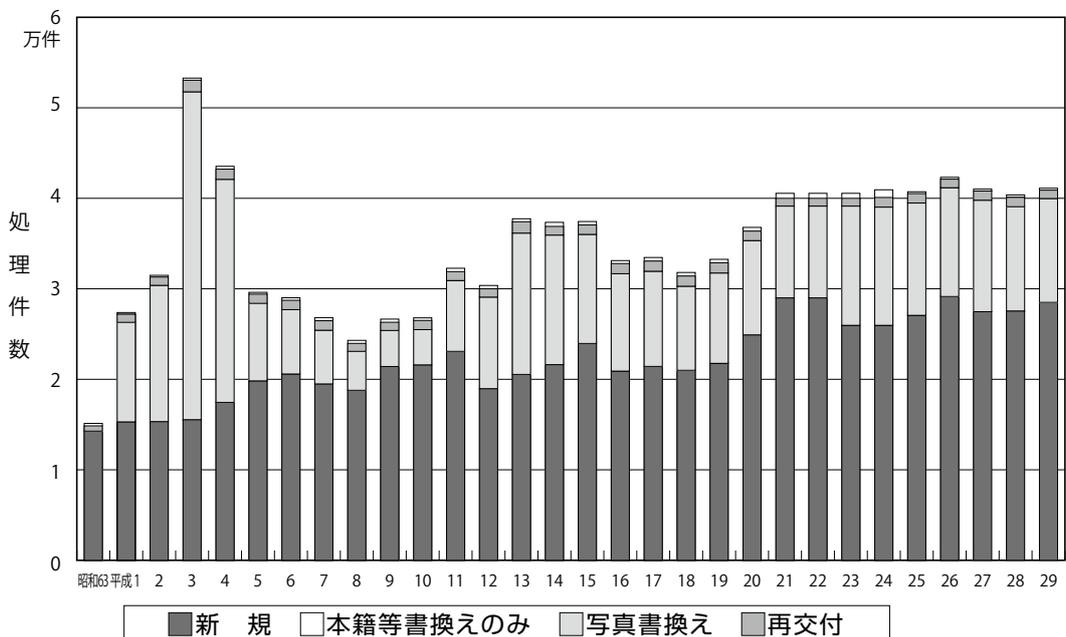
ア 危険物取扱者は、1万1千件前後で推移しています。平成29年度は前年度に比べて2.4%増の1万985件となっています。

イ 消防設備士は、1千件前後で推移しています。平成29年度は前年度に比べて10.8%減の921件となっています。

■図3 危険物取扱者の免状処理状況の推移



■図4 消防設備士の免状処理状況の推移



■ 表 1 危険物取扱者免状処理状況の推移

年度	合計	対前年 増減率	免状作成件数						再交付	対前年 増減率	本籍等 書換えのみ	対前年 増減率
			対前年 増減率	新規	対前年 増減率	写真書換え	対前年 増減率	再交付				
昭和 63 年度	182,519	—	180,838	—	177,566	—	—	—	3,272	—	1,681	—
平成 1 年度	346,876	90.0%	345,648	91.1%	194,564	9.6%	143,422	—	7,662	134.2%	1,228	-26.9%
平成 2 年度	391,648	12.9%	390,165	12.9%	199,375	2.5%	181,642	26.6%	9,148	19.4%	1,483	20.8%
平成 3 年度	539,433	37.7%	537,231	37.7%	202,844	1.7%	321,056	76.8%	13,331	45.7%	2,202	48.5%
平成 4 年度	440,831	-18.3%	438,636	-18.4%	202,975	0.1%	223,087	-30.5%	12,574	-5.7%	2,195	-0.3%
平成 5 年度	262,788	-40.4%	260,787	-40.5%	108,727	2.8%	44,325	-80.1%	7,735	-38.5%	2,001	-8.8%
平成 6 年度	248,916	-5.3%	246,614	-5.4%	201,848	-3.3%	36,504	-17.6%	8,262	6.8%	2,302	15.0%
平成 7 年度	251,749	1.1%	249,179	1.0%	211,299	4.7%	29,927	-18.0%	7,953	-3.7%	2,570	11.6%
平成 8 年度	239,407	-4.9%	236,524	-5.1%	202,421	-4.2%	26,280	-12.2%	7,823	-1.6%	2,883	12.2%
平成 9 年度	232,704	-2.8%	229,664	-2.9%	194,220	-4.1%	27,355	4.1%	8,089	3.4%	3,040	5.4%
平成 10 年度	241,814	3.9%	238,753	4.0%	203,114	4.6%	27,086	-1.0%	8,553	5.7%	3,061	0.7%
平成 11 年度	336,025	39.0%	332,893	39.4%	220,497	8.6%	102,647	279.0%	9,749	14.0%	3,132	2.3%
平成 12 年度	350,831	4.4%	347,739	4.5%	211,281	-4.2%	125,622	22.4%	10,836	11.1%	3,092	-1.3%
平成 13 年度	394,582	12.5%	391,442	12.6%	209,542	-0.8%	169,911	35.3%	11,989	10.6%	3,140	1.6%
平成 14 年度	370,008	-6.2%	366,897	-6.3%	222,496	6.2%	132,005	-22.3%	12,396	3.4%	3,111	-0.9%
平成 15 年度	339,491	-8.2%	336,370	-8.3%	227,288	2.2%	96,983	-26.5%	12,099	-2.4%	3,121	0.3%
平成 16 年度	331,034	-8.4%	308,000	-8.4%	212,220	-6.6%	84,159	-13.2%	11,621	-4.0%	3,034	-2.8%
平成 17 年度	284,975	-8.4%	281,941	-8.5%	189,455	-10.7%	80,987	-3.8%	11,499	-1.0%	3,034	0.0%
平成 18 年度	292,603	2.7%	289,406	2.6%	200,093	5.6%	77,283	-4.6%	12,030	4.6%	3,197	5.4%
平成 19 年度	300,211	2.6%	296,952	2.6%	207,754	3.8%	77,283	0.0%	11,915	-1.0%	3,259	1.9%
平成 20 年度	297,098	-1.0%	293,815	-1.1%	196,075	-5.6%	84,923	9.9%	12,817	7.6%	3,283	0.7%
平成 21 年度	321,663	8.3%	318,486	8.4%	199,816	1.9%	106,110	24.9%	12,560	-2.0%	3,177	-3.2%
平成 22 年度	322,723	0.3%	319,375	0.3%	192,459	-3.7%	114,549	8.0%	12,367	-1.5%	3,348	5.4%
平成 23 年度	353,617	9.6%	350,030	9.6%	197,942	2.8%	137,460	20.0%	14,628	18.3%	3,587	7.1%
平成 24 年度	331,084	-6.4%	327,660	-6.4%	187,758	-5.1%	127,300	-7.4%	12,602	-13.9%	3,424	-4.5%
平成 25 年度	303,580	-8.3%	301,616	-7.9%	175,299	-6.6%	114,195	-10.3%	12,122	-3.8%	1,964	-42.6%
平成 26 年度	278,640	-8.2%	276,871	-8.2%	156,466	-10.7%	108,828	-4.7%	11,577	-4.5%	1,769	-9.9%
平成 27 年度	265,757	-4.6%	264,031	-4.6%	147,966	-5.4%	104,558	-3.9%	11,507	-0.6%	1,726	-2.4%
平成 28 年度	258,059	-2.9%	256,330	-3.0%	142,716	-3.5%	102,883	-1.6%	10,731	-6.7%	1,729	0.2%
平成 29 年度	267,738	3.8%	266,087	3.8%	151,668	6.3%	103,434	0.5%	10,985	2.4%	1,651	-4.5%

注) 平成25年度以降の本籍等書換えのみは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

■ 表 2 消防設備士免状処理状況の推移

年度	合計	対前年 増減率	免状作成件数						再交付	対前年 増減率	本籍等 書換えのみ	対前年 増減率
			対前年 増減率	新規	対前年 増減率	写真書換え	対前年 増減率	再交付				
昭和 63 年度	14,988	—	14,753	—	14,218	—	—	—	535	—	235	—
平成 1 年度	27,231	81.7%	27,092	83.6%	15,232	7.1%	11,062	—	798	49.2%	139	-40.9%
平成 2 年度	31,299	14.9%	31,179	15.1%	15,246	0.1%	15,031	35.9%	902	13.0%	120	-13.7%
平成 3 年度	53,267	70.2%	53,088	70.3%	15,439	1.3%	36,435	142.4%	1,214	34.6%	179	49.2%
平成 4 年度	43,398	-18.5%	43,196	-18.6%	17,386	12.6%	24,585	-32.5%	1,225	0.9%	202	12.8%
平成 5 年度	29,578	-31.8%	29,403	-31.9%	19,734	13.5%	8,716	-64.5%	953	-22.2%	175	-13.4%
平成 6 年度	28,994	-2.0%	28,760	-2.2%	20,632	4.6%	7,054	-19.1%	1,074	12.7%	234	33.7%
平成 7 年度	26,691	-7.9%	26,464	-8.0%	19,479	-5.6%	5,910	-16.2%	1,075	0.1%	227	-3.0%
平成 8 年度	24,274	-9.1%	23,971	-9.4%	18,728	-3.9%	4,276	-27.6%	967	-10.0%	303	33.5%
平成 9 年度	26,576	9.5%	26,297	9.7%	21,295	13.7%	4,043	-5.4%	959	-0.8%	279	-7.9%
平成 10 年度	26,691	0.4%	26,394	0.4%	21,567	1.3%	3,877	-4.1%	950	-0.9%	297	6.5%
平成 11 年度	32,256	20.8%	31,920	20.9%	23,105	7.1%	7,819	101.7%	996	4.8%	336	13.1%
平成 12 年度	30,402	-5.7%	30,107	-5.7%	18,881	-18.3%	10,192	30.3%	1,034	3.8%	295	-12.2%
平成 13 年度	37,655	23.9%	37,359	24.1%	20,539	8.8%	15,610	53.2%	1,210	17.0%	296	0.3%
平成 14 年度	37,288	-1.0%	36,947	-1.1%	21,629	5.3%	14,224	-8.9%	1,094	-9.6%	341	15.2%
平成 15 年度	37,387	0.3%	37,053	0.3%	23,877	10.4%	12,038	-15.4%	1,138	4.0%	334	-2.1%
平成 16 年度	33,025	-11.7%	32,733	-11.7%	20,753	-13.1%	10,823	-10.1%	1,157	1.7%	292	-12.6%
平成 17 年度	33,345	1.0%	33,030	0.9%	21,297	2.6%	10,607	-2.0%	1,126	-2.7%	315	7.9%
平成 18 年度	31,656	-5.1%	31,325	-5.2%	20,905	-1.8%	9,314	-12.2%	1,106	-1.8%	331	5.1%
平成 19 年度	33,142	4.7%	32,854	4.9%	21,705	3.8%	10,029	7.7%	1,120	1.3%	288	-13.0%
平成 20 年度	36,659	10.6%	36,369	10.7%	24,790	14.2%	10,527	5.0%	1,052	-6.1%	290	0.7%
平成 21 年度	40,390	10.2%	40,064	10.2%	28,458	14.8%	10,548	0.2%	1,058	0.6%	326	12.4%
平成 22 年度	40,379	0.0%	40,079	0.0%	27,444	-3.6%	11,557	9.6%	1,078	1.9%	300	-8.0%
平成 23 年度	40,214	-0.4%	39,885	-0.5%	25,586	-6.8%	13,080	13.2%	1,219	13.1%	329	9.7%
平成 24 年度	40,941	1.8%	40,662	1.9%	26,531	3.7%	13,067	-0.1%	1,064	-12.7%	279	-15.2%
平成 25 年度	40,723	-0.5%	40,525	-0.3%	27,066	2.0%	12,412	-5.0%	1,047	-1.6%	198	-29.0%
平成 26 年度	42,319	3.9%	42,112	3.9%	29,145	7.7%	12,021	-3.2%	946	-9.6%	207	9.0%
平成 27 年度	41,011	-3.1%	40,802	-3.1%	27,470	-5.7%	12,317	2.5%	1,015	7.3%	209	1.0%
平成 28 年度	40,365	-1.6%	40,102	-1.7%	27,552	0.3%	11,517	-6.5%	1,033	1.8%	263	25.8%
平成 29 年度	41,107	1.8%	40,897	2.0%	28,500	3.4%	11,476	-0.4%	921	-10.8%	210	-20.2%

注) 平成25年度以降の本籍等書換えのみは、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数



# 支部の広場

青森県支部からお届け

## ○ 厳しい冬を乗り越えて

今年に入って日本列島は、幾度となく大寒波に襲われました。全国に流れる豪雪による被害の映像を見るにつけ、平成24年2月1日から2日にかけて青森県内で発生した、猛吹雪による交通障害の記憶がよみがえります。特に下北半島を縦断する国道279号では大型車両がスリップし、道を塞いだために交通渋滞が発生。さらには猛吹雪による吹き溜まりで400台を超える車両が移動不可能となりました。

ちょうどこの時期に青森県では、年度最後の危険物取扱者試験が行われます。年初の大寒波の中、「受験者が無事に試験会場へ辿り着けるように」との願いを込めながら迎えた2月3日、4日の試験は幸い、不測の事態が発生することなく終了し、安堵したところです。

## ○ 職員3人体制へ

さて、平成30年度における当支部のトピックは、何と言っても長年、支部に貢献してくれた女性職員が退職し、4月から職員3人体制となったことです。現在は、3年目の支部長と、支部創設にも関わった「生き字引」の職員、そして「今が旬」の若手の、いずれも男性職員3人が、役職・年齢の壁を取り払いながら、日々、支部の運営について話し合い、業務遂行に励んでいるところです。また、センターを挙げての経営改善対策に加え、支部としての重点事項を定め(表1)、3人で「公正かつ適正な試験を安定的に実施する」ための取組みを進めているところです。

青森県庁、その真向かいにある支部事務所の周辺は、青森ねぶた祭り期間中、一大パフォーマンス広場へと様変わり。「ラッセラー」の掛け声に合わせて舞う「ハネト」や大勢の観光客が行き交います。いまや、本格的な夏祭りの熱気がそこまでやって来ている感があります。その熱気に負けず、支部の新たな体制が一日も早く軌道に乗るよう願いながら、職員一体で励んでいる毎日です。(なお、本部の承諾を得て、4月から臨時職員を雇用しています。)

■表1 平成30年度青森県支部取組方針(重点事項)

1. 職員3人体制の構築
2. 試験・免状手数料の改定に伴う関係機関への周知徹底
3. 受験者確保対策
  - (1)危険物取扱者試験及び消防設備士試験の受験申請者数の動向を分析し、減少が顕著な高等学校、職種を中心に受験の勧奨を展開
  - (2)県高等学校長協会工業部会、県私学校長協会への情報提供及び担当教諭との連携強化

## ○ 試験業務の実施状況

### 1 危険物取扱者試験について

当支部は、試験の実施日数が多く、1年を通して試験に関わっています。今年度は、危険物取扱者試験15日、消防設備士試験5日を計画。このほか、来年3月までに30日程度、高校や高等技術専門学校、消防学校、県営農科大学校、陸上・海上自衛隊等での特定試験を予定しています。

試験は、青森、弘前、八戸の3市を中心に6市で実施。試験当日は、支部職員が責任者として試験会場に出向き、会場ごとに配置する3人の試験実施本部員が職員を補佐します。また、試験監督員は、消防や県庁のOB、元・現教職員等、約80人の方々をお願いしており、受験申請者数により地域内の試験監督員で対応しきれない場合は、地域を超えて協力し合う体制を整えています。

当支部の受験申請者数は、表2のとおりです。特に、これまで概ね横ばいで推移してきた高校生以外の職種が、平成29年度で大幅に減少。職種が多岐にわたり、ターゲットが絞りにくいだけに、これらの受験者確保は難題です。

一方、平成29年度の高校生の受験申請者数は、前年度より微増となりました。また、工業高校4校、普通科進学校1校から合わせて6人の高校生が最難関の甲種試験に合格(当支部試験史上、平成26年度に並ぶ快挙)。そのほか、商業高校から初の乙種全類合格者(1人)が誕生しました。

### 2 高校教諭との意見交換を通じて

高校教諭との意見交換会(昨年度に引き続き今年度も開催)は、センターと教育現場の間にとどまらず、先生方相

互のネットワーク形成上からも、大きな意義があったと受け止めています。また、意見交換会と後日行った先生との個別面談を通じて、受験申請者の減少要因について、数字上では読み取りにくい実態がより明らかとなりました。

- ・これまで受験してきた学科の生徒の募集が1学級減った。
- ・部活動の大会が試験日と重なって、受験できなかった。
- ・事前講習を開きたいが、受講料が生徒の負担になる。
- ・受持ち以外の学科にまで、受験の周知をする余裕がない。
- ・受持ちの生徒の大半が乙種全類に合格し、これ以上は受験者が出ない。

など、各校で様々な事情を抱えており、学校ごとに個別のアプローチが必要であることを痛感。

一方、特定試験について、「あと一步で合格」という生徒にとっては、またとない機会。勉強した内容が頭に入っているうちにチャレンジさせたい」との意欲的な発言もあり、他の先生方への刺激になったと感じています。

なお、当支部では、教育現場の意見も参考に、今年度、高校生用の試験案内（4ページ）を新たに作成し、高校に配付したところ、大変好評です。こうした取組みが直ちに受験者確保につながるかどうかはさておき、現場で奮闘される先生方の一助になれば幸いと考えます。

### 3 消防設備士試験について

一般試験は、昨年度から8月と12月に実施。昨年度の受験申請者数は、1千人を下回りました。これは、12月の試験日が電気工事士の試験と重なったことが主な要因と考えられ、今年度は、他の国家試験との日程調整をしつつ、1千人台への復帰をひそかに期待しているところです。

また例年、一部の高校、高等技術専門校、海上自衛隊で

特定試験を行っていますが、危険物取扱者試験と同日実施が可能なことも「売り」の一つにしています。

### ○ 免状業務の実施状況

当支部の免状作成件数の推移は、表3のとおりです。

なお、「写真書換えのお知らせ」は、6月の危険物取扱者試験が一段落し、8月の消防設備士試験の準備に取りかかるまでの合間を見て行っています。

■表3 免状作成件数の推移

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度
新規作成	2,658	2,566	2,628	2,413
写真書換え等	2,252	2,356	2,004	1,892
計	4,910	4,922	4,632	4,305

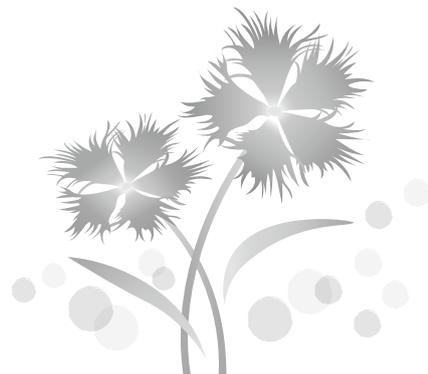
### ○ 着実に歩を進める

平成34年度、青森県では、県立高校教育改革推進の一環として、大幅な学科改編等が計画されています。特に、危険物取扱者試験を受験する高校生の大宗を占める、工業高校6校がそれぞれ1学級減、また、農業高校4校のうち2校で1学級減等が見込まれます。受験者確保という命題にとっては大きなハードルとなりますが、やるべきことを一つずつ積み重ねるのみです。

間もなく学校は夏休みシーズンを迎えます。今年度の先生方との意見交換会もただいま準備進行中！

■表2 受験申請者数の推移

年 度	26年度	27年度	28年度	29年度	
危険物取扱者	甲 種	279	201	211	208
	乙 種	6,358	6,014	5,747	5,263
	丙 種	1,007	1,080	955	881
	計	7,644	7,295	6,913	6,352
	うち高校生	3,946	3,552	3,079	3,100
消防設備士	甲 種	516	560	522	414
	乙 種	577	656	607	487
	計	1,093	1,216	1,129	901



## 危険物取扱者乙種全類取得へのチャレンジ

### 危険物取扱者の資格を知るきっかけ

危険物取扱者資格との出会いは、中学に入って、父の職業柄、様々な作業をする際に危険物を取り扱う時には、資格があることを教えられた事にはじまります。父は、県立米沢工業高校工業化学科（現在の建設環境類環境化学コース）を卒業して以来、可燃性ガスや高圧ガス等を取り扱う職業に従事しており、危険物取扱者の資格を有し作業に従事しています。父の従事している仕事内容から、危険物の種類や取り扱い方法などの話を聞き、将来の夢である消防士には危険物の知識が必要だということを知りました。高校生になって時期が来たら父もそうしたように、自分も将来のために危険物の資格を取得しようと考えたのがはじまりです。

### 乙種第4類を取得するために

本校では毎年6月及び10月に、危険物取扱者の試験会場になっています。また、私の所属する環境化学コースでは6月の試験日にあわせて専門教科の授業時間に危険物についての学習をすることになっています。そのため環境化学コース全員が2年次早々と乙種第4類の学習を始めます。「化学および物理に関する基礎知識」をはじめ、「危険物の性質・貯蔵ならびに消火の方法」や「危険物に関する法令」について学びました。特に、法令は似ているような内容の文章や問題がたくさんあり、覚えるのにとっても苦労しました。学習内容も豊富なことから、学校の授業だけでは到底時間が足りません。私はサッカー部に所属し、また片道1時間という遠隔地からの電車通学をしていました。そのため他の人よりも自由に使える時間が少なかったのですが、この逆境を逆手にとって、時間を有効に使うと考えました。登下校の電車の中はもちろんのこと、学校の休み時間など、空いた時間を利用して学習することを意識し実践しました。問題を見たり、文をただ読んだりするので



梅津 紘也 うめつ こうや

山形県立米沢工業高等学校  
建設環境類 環境化学コース3年  
(現在: 学校法人新潟総合学園  
新潟医療福祉大学  
医療技術部救急救命学科 在学中)

はなく、実際にノートに書いたり何度も問題を繰り返し解くように取り組みました。そのことが結果的に何事にも集中して臨むこと、時間を有効に使うことの大切さを身につけることができたように思います。

試験当日は、初めての国家試験ということもあり、とても緊張していましたが自分の学習してきたことに自信を持ち、落ち着いて最後まで解くことが出来ました。難しい問題もありましたが、比較的確信を持って解けた問題もありました。しかし、結果が出るまでは不安な心境でしたが、試験の結果が出たのは夏休みにあったサッカー部の遠征の時、家に帰ってから届いている葉書を恐る恐る開いて「合格」という文字が書いてあった時は、とても嬉しかったことを覚えています。そして、合格したことで自分の自信につながりました。

### 乙種第4類以外の危険物取扱者へのチャレンジ

乙種第4類に合格したことを先生に報告すると、他の類にも挑戦するように勧められました。私も他の類に挑戦しようと考えていましたが、サッカーの大会が続くことで危険物の試験を受ける余裕はありませんでした。2年生での受験を諦め、3年生で受けることに決めました。(合格できるか不安でしたが、自分を信じて…。)

乙種は4類の他に5つあります。部活動とも両立しなければならないので、最短で取得しようと考えていました。似ている性質の類毎だと学習内容が1つにまとまると考え「1類と6類」、「2類と5類」、「3類」と

3回で取得することを目標にしました。このことを先生に伝えると「大丈夫か?やれるのか?」と驚かれたことを今でも鮮明に覚えています。とは言え、3回連続で違う類を受けることは決して簡単なことではありません。まして、1回目の受験日と2回目の受験日の間が1週間しかないのが最大のネックでしたが、4類取得の際に培った集中力と時間の有効な使い方を信じ、ポジティブにとらえてやってみることにしました。2年次に4類を取得したことによる「法令」と「化学・物理知識」の免除は精神的にもだいぶ助かりました。しかし新たに学習を開始すると、他の類では聞いたこともないような薬品名が出てきてとても苦労しました。参考書を購入し、問題を何度も解きました。4類取得と同様に部活動との両立をするために電車の中や休み時間などの空いている時間を有効に使って学習しました。試験当日は初めての受験ではなかったのであまり緊張はしませんでした。試験が終わると合否を待たずに次の試験の学習をするというのは何とも変な感じでしたが、合格を信じ消防士になるためだと気持ちを奮い立たせて学習に励みました。最後に残った第3類の合格通知が届き、全てを取得できた時、何にも代え難い満足感、充実感、達成感が心を満たしました。化学についてより専門性を学ぶ中で、その大きな1歩が踏み出せたと思います。また更なる大いなる自信につながる事ができました。

### 進路との大きな関わり

私は、この四月から高校で学んだ工業の道から一旦離れ、消防士を目指すために進学をします。この資格やこの二年間で学んだことが、消防士になれば火災時の消火方法や安全な避難の方法などで活かせるはずで。危険物の知識をさらに広く社会のために活かせるようにしたいと考えています。また取得した資格以上に、どんなことにも果敢に挑戦し続ける気持ちが自分の中にできたこと、それが自分の夢の実現につながると確信しています。大いなる武器として努力し続けたいと強く考えます。最終的には、消防士の中でも救急

救命士になりたいと考えているので、様々な場面で傷病者への処置や救助にも活かせればと考えます。

### 最後に

私が乙種危険物取扱者の資格を取ることが出来たのはたくさんの方々のおかげです。指導してくださった先生をはじめ、支えてくれた両親、共に受験した友人の力があつたからです。危険物取扱者試験は決して簡単な試験ではありませんが、自分で目標を設定して効率よく時間を使って学習すれば取得できるはずで。これは資格試験だけにいえることではなく、すべてに通じると思います。現に私が、部活動と危険物の学習を両立できたことで証明できたと思っています。目標を持っていれば、誰にでもできることだと思います。危険物取扱者の資格は決して簡単な資格ではないからこそ、やりがいはあるし、合格したときには達成感があり、自信につながります。これから受験をするみなさんにも自分自身の成長のために是非挑戦して欲しいと思います。自分に自信を持って頑張ってください。



# 消防庁の通知・通達等

## ◆平成29年中の危険物に係る事故に関する執務資料の送付について

消防危第101号 平成30年5月29日

各都道府県消防防災主管部長、東京防庁・各指定都市消防長 あて

消防庁危険物保安室長

### 要旨

今般、「平成29年中の危険物に係る事故の概要」及び「都道府県別の危険物に係る事故の発生状況」をそれぞれ別添1及び別添2のとおり取りまとめました。また、平成29年中の危険物に係る事故の主なポイント、指導上の留意事項等を下記のとおり取りまとめましたので、執務上の参考として下さい。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知くださいますようお願いいたします。

なお、本通知は消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

### 記

#### 1 平成29年中の危険物に係る事故の主なポイント

##### (1) 火災事故

ア 火災事故の発生及び被害の状況 前年と比較して危険物施設における火災事故の発生件数は減少し、195件となっており、そのうち重大事故は9件発生している。

施設別の火災事故発生件数については、一般取扱所、製造所、給油取扱所の順となっており、この3施設で全体の約92%（179件/195件）を占めている。

また、1万施設当たりの火災事故の発生件数（以下、「火災事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

##### イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、一般取扱所が最も多く4件、次いで製造所が3件、屋内貯蔵所及び屋外タンク貯蔵所が1件の順となっている。

##### ウ 重大事故における深刻度評価指標

深刻度評価指標別に各重大事故をみると、収束時間指標が重大事故要件に達しているものが7件、影響範囲指標が1件、人的評価指標が2件となっている。（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）

#### エ 出火の原因に関係した物質

火災事故のうち、危険物が出火原因物質となる火災事故が約46%（89件/195件）を占めている。このうち、第4類の危険物によるものが約91%（81件/89件）を占めており、品名別にみると、第4類第1石油類が約39%（35件/89件）と最も高い割合を占めている。

#### オ 火災事故の発生原因及び着火原因

火災事故の発生原因では、維持管理不十分等の人的要因が約48%（94件/195件）と最も高い割合を占めている。主な着火原因では、高温表面熱が約18%（35件/195件）と最も高く、次いで過熱着火が約12%（24件/195件）の割合を占めている。

### (2) 流出事故

#### ア 流出事故の発生及び被害の状況

前年と比較して危険物施設における流出事故の発生件数は13件増加して、369件となっており、そのうち重大事故は80件発生している。

施設別の流出事故件数については、一般取扱所、屋外タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所の順となっており、この3施設で約63%（231件/369件）を占めている。

1万施設当たりの流出事故の発生件数（以下、「流出事故の発生率」という。）の高い危険物施設は、移送取扱所、製造所、一般取扱所であり、近年この傾向は変わっていない。

#### イ 重大事故の発生施設

重大事故の発生施設としては、屋外タンク貯蔵所が最も多く27件、次いで移動タンク貯蔵所が21件、地下タンク貯蔵所が13件の順となっている。

#### ウ 重大事故における深刻度評価指標

深刻度評価指標別に各重大事故をみると、流出範囲指標が重大事故要件に達しているものが63件、流出量指標が20件、人的評価指標は0件であった。（各指標の件数は、重大事故の要件に達しているものを全て計上している。）

#### エ 流出した危険物

流出事故において流出した危険物の種類は、第4類の危険物が約99%（364件/369件）を占めており、このうち第4類第2石油類が約40%（146件/369件）と最も高い割合を占めている。

## オ 流出事故の発生原因

流出事故の発生原因は、物的要因が約55%（203件/369件）を占めている。このうち、腐食疲労等劣化によるものが約60%（121件/203件）を占めている。腐食疲労等劣化による流出事故が多い施設は、屋外タンク貯蔵所、一般取扱所、地下タンク貯蔵所及び給油取扱所の順となっている。

また、約34%（125件/369件）を占める人的要因のうち、操作確認不十分によるものが34%（42件/125件）を占めている。

## 2 指導上の留意事項

火災事故の発生原因としては、人的要因である維持管理不十分や操作確認不十分、誤操作等が多く、着火原因では、高温表面熱や静電気火花、電気火花が多い。次に、流出事故の発生原因としては、物的要因である腐食疲労等劣化が最も多く、次いで人的要因である操作確認不十分や監視不十分が続いている。

火災事故及び流出事故のいずれの場合においても、人的要因に対する対策としては予防規程等を活用した保安教育の徹底、物的要因の対策としては施設及び設備等の経年劣化も踏まえた点検、維持管理の徹底を指導されたい。

また、危険物に係る業界団体、消防関係機関等により策定された「平成30年度危険物等事故防止対策実施要領」と別添1及び別添2の統計データを参考とし、都道府県別の事故発生状況や危険物施設の態様を踏まえた事故防止対策を実施していくことが必要である。特に、平成29年中も含め近年の事故件数や事故発生率が大きく増減したものについては、その原因や再発防止について検討されたい。

（別紙1：平成29年中の危険物に係る事故の概要 略）

（別紙2：都道府県別の危険物に係る事故の発生状況 略）

## ◆消防法施行規則等の一部を改正する省令等の参考資料の送付について

平成30年6月1日

各都道府県消防防災主管課、東京防庁・各指定都市消防本部 へ

消防庁予防課

### 要旨

「消防法施行規則等の一部を改正する省令等の公布について」（平成30年6月1日付け消防予第369号）により、消防法施行規則の一部を改正する省令等の公布について通知したところですが、改正後の消防法施行規則等の基本的な考え方や具体例等について別紙1のとおり参考資料を作成しましたので送付します。

また、当該改正内容を含め、民泊の消防法上の取り扱い等について別紙2のとおり、リーフレットを作成しましたので防火対象物の関係者への説明等にご活用ください。

なお、これらの内容については、消防庁ホームページにまとめて掲載しています。

<[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList4\\_19.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList4_19.html)>

各都道府県消防防災主管課におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対して、この旨周知していただきますようお願いします。

（別紙1：消防法施行規則等の一部を改正する省令等の公布について 略）

（別紙2：リーフレット「民泊における消防法令上の取扱い等について」 略）

※ 全文については、消防庁ホームページに掲載されておりますので参照ください。  
<http://www.fdma.go.jp/>

# 業務報告

## 4月の試験実施結果

### ■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	462	179	38.7
乙種第1類	353	258	73.1
乙種第2類	230	170	73.9
乙種第3類	307	242	78.8
乙種第4類	5,898	2,939	49.8
乙種第5類	260	179	68.8
乙種第6類	375	264	70.4
乙種計	7,423	4,052	54.6
丙種	285	181	63.5
合計	8,170	4,412	54.0

危険物取扱者試験実施支部等  
秋田、東京、長野、愛知、大阪

### ■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	0	0	0.0
甲種第1類	0	0	0.0
甲種第2類	0	0	0.0
甲種第3類	0	0	0.0
甲種第4類	169	71	42.0
甲種第5類	0	0	0.0
甲種計	169	71	42.0
乙種第1類	0	0	0.0
乙種第2類	0	0	0.0
乙種第3類	0	0	0.0
乙種第4類	0	0	0.0
乙種第5類	0	0	0.0
乙種第6類	402	211	52.5
乙種第7類	0	0	0.0
乙種計	402	211	52.5
合計	571	282	49.4

消防設備士試験実施支部等  
東京

## 4月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	12,239	12,239	5,763	5,763	18,002	18,002
本籍等の書換え	151	151	20	20	171	171
写真書換え	8,317	8,317	864	864	9,181	9,181
再交付	1,170	1,170	97	97	1,267	1,267
計	21,877	21,877	6,744	6,744	28,621	28,621

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

## 5月の試験実施結果

### ■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種	849	364	42.9
乙種第1類	379	267	70.4
乙種第2類	312	232	74.4
乙種第3類	430	342	79.5
乙種第4類	6,617	2,918	44.1
乙種第5類	409	316	77.3
乙種第6類	416	301	72.4
乙種計	8,563	4,376	51.1
丙種	520	291	56.0
合計	9,932	5,031	50.7

#### □危険物取扱者試験実施支部等

北海道、秋田、埼玉、千葉、東京、石川、岐阜、滋賀、京都、兵庫、奈良、佐賀、沖縄

### ■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
甲種特類	96	25	26.0
甲種第1類	522	179	34.3
甲種第2類	223	76	34.1
甲種第3類	241	127	52.7
甲種第4類	294	74	25.2
甲種第5類	210	79	37.6
甲種計	1,586	560	35.3
乙種第1類	62	25	40.3
乙種第2類	14	9	64.3
乙種第3類	19	4	21.1
乙種第4類	200	66	33.0
乙種第5類	21	7	33.3
乙種第6類	392	203	51.8
乙種第7類	97	60	61.9
乙種計	805	374	46.5
合計	2,391	934	39.1

#### □消防設備士試験実施支部等

山形、東京、愛知

## 5月中の免状作成状況

(単位: 件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	3,910	16,149	265	6,028	4,175	22,177
本籍等の書換え	159	310	22	42	181	352
写真書換え	8,389	16,706	760	1,624	9,149	18,330
再交付	734	1,904	57	154	791	2,058
計	13,192	35,069	1,104	7,848	14,296	42,917

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

危険物取扱者試験日程（願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋）

支部名	試験日		受付期間				甲種	乙種						丙種
			電子申請		書面申請			第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
	月日	曜日	開始日	締切日	開始日	締切日								
北海道	10月14日	日	9月4日	9月11日	9月7日	9月14日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月4日	日	9月24日	10月1日	9月27日	10月4日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
青森	9月2日	土	7月20日	7月31日	7月23日	8月3日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	9月8日	土	7月20日	7月31日	7月23日	8月3日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	9月15日	土	7月20日	7月31日	7月23日	8月3日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月3日	土	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月4日	日	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月10日	土	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月11日	日	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月17日	土	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月18日	日	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
岩手	10月6日	土	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月13日	土	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月20日	土	8月17日	8月24日	8月20日	8月27日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
秋田	10月14日	日	8月28日	9月10日	8月31日	9月13日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
山形	10月6日	土	8月17日	8月27日	8月20日	8月30日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月13日	土	8月24日	9月3日	8月27日	9月6日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月27日	土	9月7日	9月17日	9月10日	9月20日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月10日	土	9月22日	10月1日	9月25日	10月4日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
福島	10月13日	土	8月19日	8月28日	8月22日	8月31日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月27日	土	9月2日	9月11日	9月5日	9月14日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月10日	土	9月9日	9月18日	9月12日	9月21日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
茨城	9月29日	土	7月17日	7月30日	7月20日	8月2日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月14日	日	8月20日	8月31日	8月23日	9月3日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
栃木	11月11日	日	9月7日	9月18日	9月10日	9月21日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
群馬	11月18日	日	9月22日	10月2日	9月25日	10月5日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
埼玉	10月7日	日	8月24日	9月4日	8月27日	9月7日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
千葉	11月18日	日	9月4日	10月6日	9月7日	10月9日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月25日	日	9月4日	10月6日	9月7日	10月9日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	12月2日	日	9月4日	10月6日	9月7日	10月9日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
東京	9月15日	土	7月23日	8月3日	7月26日	8月6日	甲種							
	9月24日	月	7月30日	8月10日	8月2日	8月13日					4類			
	10月6日	土	8月13日	8月24日	8月16日	8月27日					4類			
	10月14日	日	8月20日	8月31日	8月23日	9月3日					4類			
	10月21日	日	8月27日	9月7日	8月30日	9月10日		1類	2類	3類		5類	6類	丙種
	10月27日	土	8月31日	9月11日	9月3日	9月14日					4類			
	11月4日	日	9月7日	9月18日	9月10日	9月21日					4類			
	11月10日	土	9月17日	9月28日	9月20日	10月1日					4類			
11月15日	木	9月17日	10月2日	9月20日	10月5日					4類				
神奈川	9月9日	日	7月20日	8月3日	7月23日	8月6日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
新潟	9月2日	日	7月17日	7月30日	7月20日	8月2日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
富山	10月13日	土	8月26日	9月4日	8月29日	9月7日	甲種	1類	2類	3類		5類	6類	丙種
	10月14日	日	8月26日	9月4日	8月29日	9月7日					4類			
	10月21日	日	8月26日	9月4日	8月29日	9月7日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月27日	土	8月26日	9月4日	8月29日	9月7日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
石川	9月30日	日	7月30日	8月6日	8月2日	8月9日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月7日	日	7月30日	8月6日	8月2日	8月9日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月14日	日	7月30日	8月6日	8月2日	8月9日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月21日	日	7月30日	8月6日	8月2日	8月9日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
福井	10月21日	日	9月4日	9月11日	9月7日	9月14日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月28日	日	9月4日	9月11日	9月7日	9月14日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
山梨	10月21日	日	8月31日	9月7日	9月3日	9月10日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月27日	土	8月31日	9月7日	9月3日	9月10日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
長野	10月14日	日	8月17日	8月28日	8月20日	8月31日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月21日	日	8月17日	8月28日	8月20日	8月31日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月28日	日	8月17日	8月28日	8月20日	8月31日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月4日	日	8月17日	8月28日	8月20日	8月31日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
岐阜	11月11日	日	9月30日	10月9日	10月3日	10月12日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月18日	日	9月30日	10月9日	10月3日	10月12日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
静岡	11月4日	日	8月24日	9月3日	8月27日	9月6日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月11日	日	8月24日	9月3日	8月27日	9月6日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
愛知	10月7日	日	9月1日	9月10日	9月4日	9月13日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月14日	日	9月1日	9月10日	9月4日	9月13日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
三重	11月10日	土	9月8日	9月18日	9月11日	9月21日					4類			丙種
	11月17日	土	9月8日	9月18日	9月11日	9月21日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月18日	日	9月8日	9月18日	9月11日	9月21日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
滋賀	10月7日	日	8月21日	9月1日	8月24日	9月4日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種

京 都	10月28日	日	8月24日	9月 3日	8月27日	9月 6日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月 4日	日	8月24日	9月 3日	8月27日	9月 6日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
大 阪	10月 7日	日	8月27日	9月 3日	8月30日	9月 6日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
兵 庫	10月 7日	日	8月13日	8月24日	8月16日	8月27日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月 8日	月	8月13日	8月24日	8月16日	8月27日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
和歌山	10月21日	日	8月25日	9月 3日	8月28日	9月 6日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
鳥 取	10月14日	日	8月17日	8月31日	8月20日	9月 3日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	10月20日	土	8月17日	8月31日	8月20日	9月 3日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
島 根	11月 4日	日	8月24日	9月 7日	8月27日	9月10日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月11日	日	8月24日	9月 7日	8月27日	9月10日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
岡 山	10月21日	日	8月20日	8月31日	8月23日	9月 3日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
広 島	11月11日	日	9月15日	9月25日	9月18日	9月28日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
山 口	11月17日	土	8月31日	9月11日	9月 3日	9月14日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月18日	日	8月31日	9月11日	9月 3日	9月14日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
徳 島	11月25日	日	9月28日	10月 9日	10月 1日	10月12日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
香 川	11月17日	土	9月29日	10月 9日	10月 2日	10月12日					4類			
	11月18日	日	9月29日	10月 9日	10月 2日	10月12日	甲種	1類	2類	3類		5類	6類	丙種
愛 媛	10月28日	日	8月28日	9月 7日	8月31日	9月10日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
高 知	10月28日	日	9月 7日	9月18日	9月10日	9月21日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月 4日	日	9月 7日	9月18日	9月10日	9月21日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
福 岡	10月28日	日	8月25日	9月 7日	8月28日	9月10日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月 4日	日	8月25日	9月 7日	8月28日	9月10日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
佐 賀	11月25日	日	9月22日	10月 2日	9月25日	10月 5日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
長 崎	11月18日	日	9月 7日	9月18日	9月10日	9月21日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月23日	金	9月 7日	9月18日	9月10日	9月21日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
熊 本	11月 4日	日	9月 3日	9月10日	9月 6日	9月13日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
	11月11日	日	9月 3日	9月10日	9月 6日	9月13日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
大 分	11月18日	日	9月17日	10月 1日	9月20日	10月 4日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
宮 崎	11月18日	日	9月 3日	9月18日	9月 6日	9月21日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
鹿 児 島	11月 4日	日	9月10日	9月22日	9月13日	9月25日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種
沖 縄	9月30日	日	8月20日	8月27日	8月23日	8月30日	甲種	1類	2類	3類	4類	5類	6類	丙種

消防設備士試験日程 (願書受付が8・9月にかかる日程分を抜粋)																			
支 部 名	試験日		受付期間				甲 種					乙 種							
			電子申請		書面申請		特 類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
	月 日	曜 日	開始日	締切日	開始日	締切日													
北 海 道	11月 4日	日	9月24日	10月 1日	9月27日	10月 4日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
宮 城	11月18日	日	9月30日	10月 9日	10月 3日	10月12日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
秋 田	11月 4日	日	9月18日	10月 1日	9月21日	10月 4日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
山 形	9月15日	土	7月20日	7月30日	7月23日	8月 2日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
埼 玉	9月 2日	日	7月24日	8月 3日	7月27日	8月 6日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
千 葉	9月 1日	土	6月18日	7月10日	6月21日	7月13日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
東 京	9月22日	土	7月30日	8月10日	8月 2日	8月13日		甲1											
	9月29日	土	8月 6日	8月17日	8月 9日	8月20日					甲4								
	10月13日	土	8月20日	8月31日	8月23日	9月 3日												乙6	
	10月20日	土	8月27日	9月 7日	8月30日	9月10日							乙1	乙2	乙3		乙5		
	10月28日	日	8月31日	9月11日	9月 3日	9月14日	特 類		甲2	甲3		甲5							
	11月 3日	土	9月 7日	9月18日	9月10日	9月21日		甲1											
	11月11日	日	9月17日	9月28日	9月20日	10月 1日					甲4								
新 潟	10月14日	日	8月24日	9月 7日	8月27日	9月10日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
石 川	11月 4日	日	9月10日	9月17日	9月13日	9月20日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
奈 良	9月23日	日	8月 6日	8月13日	8月 9日	8月16日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
和歌山	12月 9日	日	9月30日	10月 9日	10月 3日	10月12日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
鳥 取	11月25日	日	9月18日	10月 2日	9月21日	10月 5日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
高 知	12月 2日	日	9月29日	10月15日	10月 2日	10月18日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7
沖 縄	11月 4日	日	9月24日	10月 1日	9月27日	10月 4日	特 類	甲1	甲2	甲3	甲4	甲5	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	乙7

Voice...

## 編集後記

2018 July

海の日も過ぎ、暑い日が続く季節となりました。

今年の土用の丑の日は7月20日(金)と8月1日(水)のようです。

鰻を食べて元気回復を、と計画されている方もいらっしゃることでしょう。この時季、体調管理には十分気を付けたいものです。

今月号は、平成29年度の事業報告、試験の実施状況、免状の作成状況等を業務情報として特集しました。お役に立てば幸いです。

都道府県  
後援:消防庁

次があるから、  
今日もがんばる。

# 免状は10年更新で、 次へと跳躍。

体操選手 白井健三

## 危険物 取扱者



## 消防 設備士

これからも活躍し続けるために、更新しましょう。免状は10年ごとに写真書換えが必要です。  
写真の書換え期限が10年を経過している方は、速やかに更新手続きを行ってください。

制作: (一財)消防試験研究センター <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>



消防試験研究センターだより

# Voice...

vol.367 平成30年7月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9279(企画研究部)/ FAX.03(5511)2751

ホームページ <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

モバイルサイト <http://www.shoubo-shiken.or.jp/m/>